

厚生労働行政推進調査事業補助金

(厚生労働科学特別研究事業)

看護師による特定行為の提供活性化に向けた、
特定行為研修の受講ニーズの評価に関する研究

平成28年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 加藤 源太

平成29（2017）年 5月

目 次

I. 総合研究報告書

看護師による特定行為の提供活性化に向けた、
特定行為研修の受講ニーズの評価に関する研究
加藤 源太

・・・1

参考資料

・・・11

厚生労働行政推進調査事業補助金（厚生労働科学特別研究事業）
総括研究報告書

看護師による特定行為の提供活性化に向けた、
特定行為研修の受講ニーズの評価に関する研究

研究代表者 加藤 源太 京都大学医学部附属病院 診療報酬センター 准教授
研究分担者 秋山 智弥 京都大学医学部附属病院 看護部長
研究分担者 中山 健夫 京都大学大学院医学研究科 健康情報学分野 教授
研究協力者 村嶋 幸代 大分県立看護科学大学 理事長・学長
研究協力者 小野 美喜 大分県立看護科学大学 成人・老年看護学研究室 教授
研究協力者 萱間 真美 聖路加国際大学 精神看護学 教授
研究協力者 荒木 裕人 岡山県 保健福祉部長

研究要旨

【目的】 2025年には団塊の世代が75歳以上となるなど、今後は高齢化が更に進展し、急性期疾患への対応のみならず、その後のリハビリも必要となる患者が増加するとともに、自宅で暮らしながら医療を受ける患者が増える見込まれている。こうした背景のもと、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により一定の診療補助を行う看護師の養成を目的に、それらの行為を「特定行為」、その実施にかかる看護師を研修する制度を「特定行為に係る看護師の研修制度」として定め、平成27年10月に施行された。一方、特定行為研修を受講し、手順書により特定行為を実施する看護師は平成27年末時点で300人に満たず、特定行為研修を行う指定研修機関も、平成28年度末時点で40機関にとどまっており、全国レベルで研修の機会を提供出来る体制が整っているとは言いがたい状況にある。そこで、全国規模でどの程度、特定行為にかかる研修の受講ニーズが存在するのかを評価することで、今後の看護師特定行為研修体制の適切な構築や制度を充実化に資する情報を提供することを目的に、本研究を実施した。

【方法】 全国の病院、有床診療所、特別養護老人ホーム等を含む介護施設（以下「介護施設（特養等）」という。）、及び訪問看護ステーションを調査対象として設定し、これら医療機関に対してランダムサンプリングを行い、調査票を発送した。今回のサンプリングにおいては、各都道府県の各種別の医療機関から確実に意見を集約することを第一の目的としたため、全国一律の抽出率を適用するのではなく、各都道府県、および各機関属性、つまり病院・有床診療所などといった属性ごとに、均等な数の調査票を発送できるよう、抽出率を都道府県ごと、機関属性ごとに設定した。調査票では、回答者の属性、看護師の在籍、特定行為研修の受講歴がある看護師の在籍、特定行為研修へのリテラシーや関心、各特定行為区分に対する研修受講の推奨の有無、指定研修機関及び協力施設としての申請に関する意向などを質問するとともに、当該研修制度の普及に関

し、障害になっていると感じていることを自由記述形式で回答してもらい、質的分析を実施した。

【結果】 調査依頼施設数は、機関属性ごとに 1,974 施設、合計で 7,896 施設となった。回収率は全体で 43.8%、内訳は、病院 46.6%、有床診療所 42.7%、介護施設（特養等）37.4%、訪問看護ステーション 48.7%であった。回答者の属性は、病院では「看護部長」、有床診療所では「施設長」、介護施設や訪問看護ステーションでは「その他」が最も多い結果となった。個別の質問事項に対する結果として、特定行為研修を修了した看護師が在籍しているか否かについては、「在籍あり」と答えた割合は、病院で最も高くなっていた。回答者における特定行為研修への認知度については、病院及び訪問看護ステーションでは高い認知度となっていたが、有床診療所や介護施設での認知度は低い結果となった。「指定研修機関」への申請予定の有無については、実際に申請を予定している機関は極めて限られていることが確認された。各特定行為区分に対する認識については、看護師に受講させたいか否か、また看護師派遣の予定があるか否かについて質問を行った。病院からの回答では、「受講させたいか否か」については、50%以上が「受講させたい」と回答する区分が呼吸器（気道確保に係るもの）関連、創傷管理関連など 4 区分あったが、実際の派遣について「予定がある」と回答した割合は 10%未満であった。有床診療所からの回答では、50%以上で「受講させたい」という回答となった区分はみられなかった。介護施設からの回答では、50%以上で「受講させたい」という回答があった区分はいくつかみられ、病院と異なり、精神及び神経症状に係る薬剤投与関連で「受講させたい」と回答した割合が 50%を超えていた。訪問看護ステーションからの回答では、他の機関属性と比較して、多くの特定行為区分で 50%以上に「受講させたい」という回答がみられ、そのうち 70%を超えた特定行為区分は、創傷管理関連と栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連であった。

【結論】 今回の調査によって、各医療機関における看護師の特定行為研修制度に対する関心を一定程度評価することができたが、看護師の派遣や指定研修機関としての体制整備を具体的に検討する医療機関は総じて非常に限られていることも明らかとなった。また、「病院」「有床診療所」「介護施設（特養等）」「訪問看護ステーション」の 4 種類の医療機関では、それぞれ当制度への関心、ニーズの高い特定行為区分等について、差異がみられることが確認された。一方、自由記述については当制度に対する現場の具体的な意見が多く含まれている可能性があるが、まだ十分な分析には至っていない。今後も分析を加え、施設属性毎に、看護師特定行為研修に関してどのような受講ニーズがあるかを分析する予定である。

A. 研究目的

2025 年には団塊の世代が 75 歳以上となり、国民の 3 人に 1 人が 65 歳以上、5 人に 1 人が 75 歳以上になるなど、今後更なる高齢化が見込まれている。これに伴い、急性期疾患への対応のみならず、その後のリハビリも必要となる患者が増加するとともに、自宅で暮らしながら

医療を受ける患者が増えるが見込まれている。

こうした背景のもと、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により一定の診療の補助を行う看護師の養成を目的に、38 の行為を「特定行為」、その特定行為を手順書により実施する看護師に研修を義務付けるものとして「特定行為に係る看護師の研修制度」が法律により定

められた。この制度は平成 27 年 10 月より施行されたが、具体的には医師又は歯科医師が特定の患者について、特定行為研修を受けた看護師に手順書によって特定行為を実施するよう指示を行い、それを受けた研修修了看護師が患者の病状を確認し、病状の範囲内であれば手順書に定められた診療の補助を行い、医師又は歯科医師に結果を報告する、というフローで患者ケアが行われることとなる¹。ここにおいて特定行為は保健師助産師看護師法第 37 条において診療の補助として位置づけられており、21 区分、38 行為が特定行為として定められている。

これらの特定行為を実施するには、指定研修機関において特定行為研修を受講する必要がある。特定行為研修は「共通科目」と「区分別科目」で構成されており、講義、演習、実習がそれぞれの科目ごとに規定されている。

看護師の特定行為研修制度により、医師の指示のもと、看護師も患者ケアにこれまで以上に高い専門性をもって参加できる環境が整備されたこととなり、2025 年に向けた医療提供体制の改革の一端を担う制度変更として位置づけられている。

特定行為研修を修了した看護師の活躍の場は様々な医療機関が想定されている。高度急性期から慢性期における病院や診療所以外に、今後の在宅医療の増大に合わせ、訪問看護ステーションや介護施設などである¹。平成 27 年度より特定行為研修を修了した看護師が排出され、今後の上記のような場所での活躍が期待される場所である。一方、特定行為研修を修了した看護師は、平成 28 年 3 月末時点で 300 人に満たず、特定行為研修を行う指定研修機関も平成 29 年 3 月末時点で 40 機関前後にとどまっている。2025 年に向けて、多くの看護師がこの研修を受け²、実際に日本全国で様々な場所で特定行為研修を修了した看護師が活躍する環

境が実現されるには、まだまだ全国的に研修の機会が提供出来る体制が整っているとはいえない状況にある。

そこで、特定行為研修の受講ニーズが全国規模でどの程度存在するのかを評価し、今後の看護師特定行為研修体制の適切な構築や制度の充実化に資する情報を提供することを目的に、本研究を実施するものである。

B. 研究方法

全国の医療機関を、「病院」、「有床診療所」、「介護施設（特養等）」、及び「訪問看護ステーション」の 4 つの機関属性に分けて、それぞれを調査対象とし、これら機関属性内でランダムサンプリングを行い、調査票を発送して、回収した情報の分析を行った。今回のサンプリングにおいては、各都道府県の各機関属性全てから確実に意見を集約することを第一の目的としたため、全国一律の抽出率を適用するのではなく、各都道府県および各機関属性、つまり「病院」、「有床診療所」などといった属性ごとに均等な数の調査票を発送できるよう、抽出率を都道府県ごと、機関属性ごとに設定した。なお、サンプリングの際の母集団となる医療機関データは、「病院」、「有床診療所」については医療施設動態調査の最新版である 2016 年 10 月時点のデータを用い、「介護施設」、「訪問看護ステーション」について介護サービス・事業所調査の最新版である 2015 年 10 月時点のデータを用いた。

調査票では、回答者の属性、看護師の在籍、特定行為研修の受講歴がある看護師の在籍、特定行為研修へのリテラシーや関心、各特定行為区分での研修受講の推奨の有無、指定研修機関および協力施設としての申請に関する意向などを質問するとともに、当該研修制度の普及に関し、障害になっていると感じていることを自

由記述形式で回答してもらうようにした(詳細は「参考資料」図1、図2、図3を参照)。調査票には協力依頼(図4)を同封し、回答率の向上に努めた。調査期間は、平成29年1月～2月とし、1か月以上の回答期間を設けることで、回収率の向上に努めた。

また、今回の研究では単なる調査のみならず、看護師の特定行為研修制度に関する認識・理解を深めてもらうことを目的に、当制度を概説したリーフレットもあわせて同封して情報の提供をはかることとした³。また、本研究は人を対象とする医学研究ではないため、所属施設の倫理委員会規定を踏まえて判断されたが、看護領域での研究の一環でもあることから、京都大学医学部附属病院看護部倫理委員会での審査を受けることとし、2016年11月21日付で研究実施の承認を受けた(承認番号:16-014)。

C. 研究結果と考察

47都道府県、機関属性ごとにそれぞれ42施設ずつを抽出し、調査票の発送を行った。すなわち、依頼施設数は機関属性ごとに1,974施設、合計で7,896施設となった。このように、依頼施設数を都道府県ごと、機関属性ごとに統一したことにより、各カテゴリーにおける抽出率は大きく異なることとなった(表1)。例えば、最も母集団の多かった「介護施設」(11,740施設)では標本抽出率は16.8%と最低値になり、「訪問看護ステーション」22.6%、「病院」23.4%、「有床診療所」25.8%の順で、抽出率が高かった。しかしながら、機関属性ごとで母集団数が大きく異なることはなかったため、抽出率もそれほど大きな違いを生じることはなかった。

また、各都道府県の人口規模や面積規模が小さければ医療機関数も少なくなるため、総じて標本抽出率が高くなる傾向にあった。なかでも、鳥取県は「有床診療所」で県内42施設全て

(100%)、「病院」で県内44施設中42施設(95.5%)、「訪問看護ステーション」で県内47施設中42施設(89.4%)など、抽出率が高くなっており、全医療機関でみても71.5%と、高い抽出率となっていた。このほかにも山梨県など、鳥取県と似たような傾向を示している都道府県は、他にも見られた。一方、抽出率の低い事例でみると、必ずしも人口の多い東京都が全ての機関属性において最低値を示しているわけではなく、「有床診療所」では福岡県のほうが、「訪問看護ステーション」では大阪府のほうが低い抽出率であった(表2)。

調査票の回収率は、全体で45.6%であった。内訳は、最も回収率の高い「訪問看護ステーション」で48.7%、次に「病院」の46.6%、「有床診療所」42.7%、「介護施設」で37.4%、であった。最も母集団が多く標本抽出率が小さかった「介護施設」において、最も回収率が悪いという結果になった。また、一部事例で住所変更等により調査票が届かない事例が見られたが、最も多かったのが「訪問看護ステーション」であった。これは「病院」等と比較して「訪問看護ステーション」が比較的小規模なスペースを拠点として設置することが可能であることから、そのぶん移転等も生じやすく、結果的に未達の事例も増えたことが推察された(表3、表4)。

回答者の属性は、「病院」では「看護部長」が79.7%と非常に高い割合となっていたが、他の機関では「看護部長」の回答率は高くなかった。「有床診療所」では「施設長」が最も多い34.2%、「介護施設」では最も多い「その他」53.2%であり、次点で「看護部長」が21.0%であり、「施設長」19.0%と大差は無く、「訪問看護ステーション」では「その他」が最も多く68.3%であり、次点で、「施設長」が25.9%となっていた。また、常勤看護師の在籍については、いずれの機関属性においても高い数値であった。こ

これらの回答者の属性の差異を考慮して結果を考察する必要がある。

Q3の「あなたの施設には特定行為研修を修了又は受講中の看護師は在籍していますか」については、最も多い「病院」でも5.5%と非常に低い割合となっており、特定行為研修を受ける/受けた看護師の数はまだまだ非常に少ないことが伺えた。

次に、Q4の「あなたは看護師の特定行為研修を知っていましたか」については、「病院」で95.3%、「訪問看護ステーション」で83.6%と高い数値となっていたが、「有床診療所」では49.6%、「介護施設（特養等）」では52.6%と、十分な認識はなされていないことが示唆された。「病院」では回答者の多くが看護部長であったが、「訪問看護ステーション」では看護部長の回答は4.2%に過ぎない。「訪問看護ステーション」で当制度の認知度が高くなっている理由として、

#（特定行為に関するニーズがあるなどして）組織全体で、看護師の特定行為に関する理解が深い。

#最も多い回答者のカテゴリーである「その他」の方々の内訳に、「看護部長」という肩書きはないながらも、看護師が多く含まれている。

などが考えられるところである。

Q5の「あなたはこのリーフレットを見たことはありましたか」については、Q4と同様、「病院」と「訪問看護ステーション」において「あり」と回答した割合がそれぞれ69.6%、49.0%と、「有床診療所」の16.5%や「介護施設（特養等）」の22.7%と比較して高い値を示していた。Q4とQ5の結果から、看護師の特定行為に対する認知度は、「病院」および「訪問看護ステーション」において高いことが示唆される結果となった。これらより、今後有床診療所や介

護施設への認知度向上に向けた支援の必要性が考えられた。

看護師の特定行為への関心については、Q6の「あなたはこのリーフレットを見て、看護師の特定行為研修に関心を持ちましたか」という問いに対して「関心を持った」と回答した割合は、「病院」82.8%および「訪問看護ステーション」80.7%の数値と比べれば低いものの、「有床診療所」および「介護施設（特養等）」でもそれぞれ61.9%、77.2%と高い数値を示しており、今回の調査票・リーフレットの発送が医療機関に対し関心の喚起に一定程度寄与したと考えられた。また、Q7の「あなたはこのリーフレットを見て、将来あなたの施設の看護師に特定行為研修を受講させたいと思いましたか」という問いに対して「受講させたいと思った」と回答した割合は、「病院」の42.8%や「訪問看護ステーション」の41.5%といった数値には及ばないものの、「有床診療所」においても24.9%、「介護施設（特養等）」においても34.2%となっており、一定程度は受講を促す契機になったとも考えられた（表5）。

こうした傾向は、Q8の「将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか」という問いの結果からも伺えた。各特定行為区分に対してこの質問を行ったところ、一部の機関属性における特定行為区分で低い値になっている事例はあるものの、「とても思う」あるいは「思う」と回答した事例が50%以上に達する特定行為区分もみられ、具体的に在籍看護師に特定行為研修を受講させたいと考える医療機関が存在することが伺えた。しかし、Q9の「あなたの施設では、平成29年度と平成30年度中に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか」という問いに対しては、「予定あり」と答えた割合は概して極めて低く、最も「予定あり」と答えた率

が高かった「病院」の「創傷管理関連」の特定行為区分であっても、5.9%に過ぎなかった。特定行為研修を看護師に受講させたいと思う医療機関は必ずしも少なくないものの、具体的に派遣を予定している医療機関は極めて限られており、特定行為研修の派遣については希望と現実との乖離が大きいことが明らかとなった。

Q8 の回答結果を個別に見てみると、まず各機関属性でみれば、「訪問看護ステーション」で延べ45%、「病院」で延べ40%と、個別の特定行為区分に対し研修させたいという回答がみられた。一方、「有床診療所」や「介護施設（特養等）」ではそれぞれ研修させたいという回答は28%に過ぎなかった。50%以上で研修させたいという回答を得た特定行為区分は、「⑪創傷管理関連」の62%を筆頭に、「⑮栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」が57%、「⑰血糖コントロールに係る薬剤投与関連」が54%、「⑯感染に係る薬剤投与関連」が53%に達していた。このほかに50%以上で研修させたいという回答を得た特定行為区分は、「病院」においては「①呼吸[気道確保に係るもの]関連」で51%、「介護施設（特養等）」においては「⑳精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」で52%、「訪問看護ステーション」においては「①呼吸[気道確保に係るもの]関連」で50%、「③呼吸器[長期呼吸療法に係るもの]関連」で60%、「⑧ろう孔管理関連」で54%、「⑨栄養かかるカテーテル管理」で51%、「㉑皮膚損傷に係る薬剤投与関連」で51%となった。一方で、研修させたいという希望が少ない特定区分として、「⑤心嚢ドレーン管理関連」の10%、「⑥胸腔ドレーン管理関連」の16%、「⑦腹腔ドレーン管理関連」の18%で、20%を切っていた。これらの項目について、「介護施設（特養等）」での希望はそれぞれ4%、5%、6%と極めて低い値となっているが、特に「⑤心嚢ドレーン管理関連」について

は「介護施設（特養等）」のみならず何れの機関属性においても研修の希望は15%以下となっており、機関属性に関わらずそれほど高くは研修を希望されていないことが明らかとなった。

次にQ9の回答結果を個別に見てみると、全体にほとんどの事例で「予定なし」という回答になっていた。「病院」においては他より若干多い延べ3%で何らかの特定行為区分に対して看護師の研修派遣予定があるとの回答が得られたが、「有床診療所」、「介護施設（特養等）」、「訪問看護ステーション」ではそれぞれ1.7%、1.9%、1.7%と低い値を示していた。最も高い割合で「予定あり」との回答を得たのは、「病院」における「⑪創傷管理関連」の5.9%であった。Q8で50%以上の医療機関から「看護師に受講させたい」との回答を得た「⑪創傷管理関連」、「⑮栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「⑯感染に係る薬剤投与関連」、「⑰血糖コントロールに係る薬剤投与関連」においては、Q9においても割合こそ3%超と低いものの、21の特定行為区分の中ではいずれも派遣予定の上位を占める特定行為区分であることが確認でき、割合は大きく異なっているものの、Q8とQ9の間には類似した傾向があることが示唆された（表6、表7、表8）。これらの結果について都道府県別に相違があることが考えられるものの、人口密度に応じた対象機関の抽出においては人口密度の詳細な調整までは行っていないこともあり、本研究では有意差を評価するまでには至っていない。

Q10の「あなたの施設は、特定行為研修に係る指定研修機関への申請を現時点で予定していますか」という問いに対しては、「申請予定なし」と回答した割合がどの機関属性においても最も高くなっており、低い割合のものから順番に「訪問看護ステーション」74.5%、「介護施設

設（特養等）」79.1%、「病院」82.0%、「有床診療所」87.6%と、現状では指定研修機関への申請を検討している医療機関の割合が非常に少ないことが明らかとなった。同様に、Q11の「あなたの施設は、特定行為研修に係る協力施設になることを現時点で予定していますか」という問いに対しても、「申請予定なし」と回答した割合が同じくどの機関属性においても最も高くなっており、低い割合のものから順番に「訪問看護ステーション」86.4%、「介護施設（特養等）」86.6%、「病院」87.5%、「有床診療所」92.4%と、協力施設としての関与を検討している医療機関も非常に少ないことが明らかとなった。これらは、Q9でみられた回答の傾向が踏襲されていることが明らかとなった（以上、表6～表14より）。これらの結果は別途、都道府県別の集計も行った（表15～表22）。但し、都道府県内ではランダムサンプリングにて対象機関を選定しており、人口の過密な地域の医療機関か、そうでない地域の医療機関を特定して評価することが困難であるため、人口規模等を加味した分析までは行っていない。

最後に、Q12では「特定行為に係る看護師の研修制度の普及に際して、障害になっていると感じていることは何ですか。また、それを改善するためにはどういった対策が必要だとお考えですか。自由に記述してください。」と、制度の普及の障害として考え得る事項を、自由記述形式で記入してもらうこととした。

当質問については全回答数のうちおよそ半数程度から何らかの記述を得ており、文字に起こす作業はおおむね終了したが、現時点ではこれらの記述内容を十分に検証するまでには至っていない。本稿では、全体分析に取り掛かる以前のパイロットスタディとしての位置づけで、回収期間中（2017年1月4日～2017年2月23日）までの特定の1日分の情報について、

分析を試みることにした。

全体で約387機関から回答を得たが、そのうち約196機関において、Q12に対する記述を確認することが出来た¹⁾。回答の傾向として、最も回答が多かった機関属性は「訪問看護ステーション」の63.1%で、以下「介護施設（特養等）」56.3%、「病院」46.6%、「有床診療所」34.2%という回答結果となった（表23）。

196機関からの文字化された回答を読み込み、それらの記述から粗いマイニングを筆者において行い、各機関属性ごとに何らかの特徴が得られないか確認した。その結果、大まかに以下の傾向が見い出された。

詳細は表24から表33に記しているが、まず、各機関属性に関わらず満遍なく障害として提起されたのは、「人員不足」であった。以下にその一例を示す。

【病院】

“職員不足により研修に行く時間がとれない。”

“人材不足の中、研修に派遣する余裕がない。”

【有床診療所】

“看護師不足のため研修へ行くことができない。”

“1人休んでも日常業務がまわらないので研修に出ない。”

【介護施設（特養等）】

“特養での看護師不足は慢性的です。”

“他施設に勤務する看護師の不足により、研修に出す人員確保が出来ない。”

【訪問看護ステーション】

“研修に行ける期間、人数がおりません”

…。”

“スタッフの数が足りず、研修に出す余裕がない。”

次に、各機関属性ごとに多く見られた回答としては、以下のようなものがあった。回答例と共にいくつか示すこととする。

【病院：「医師の理解不足」、「アクセス」】

“医師にこの制度が周知できていない。”

“当院には Dr が多く医師への指導、理解協力なしではできない。”

“研修機関が限られており少ない。増加を”

“研修機関が県内に存在しない”

【有床診療所：

「自施設の業務と兼ね合い」、「費用」】

“大半の診察所においては、研修で得たスキルが有効に用いられるかは疑問と云わざるを得ません。”

“研修費用が高く障害の一因。”

“当施設は診察所であり零細経営にあたります。”

【介護施設（特養等）：「自施設の業務との兼ね合い」、「長すぎるカリキュラム」】

“病院に於ては、看護師業務の拡大という点では、いい事と思うが…在宅復帰前の老人介護施設では普及することは困難と思う。”

“ほとんど特定行為を行っていないので必要性を感じない。老健なのでこの様な行為は医師が行うべきであり、行わないなら受け入れるべきでないと考えます。”

“e-ラーニングでの受講ができるので

しょうが、時間数が多いですね。何年かかるだろうと思いました。”

“研修期間が長く、勤務調整に苦慮する。取得後も定期的な活動や研修会へ参加しなくてはならず、勤務との両立が難しくなる状況である。知得する為には、それなりの研修機関を要するが、できるだけ短時間で効率よく取得できるようカリキュラムを調整してほしい。”

【訪問看護ステーション：「費用」、「責任の所在」】

“研修費用が高く、スタッフが少ない中での研修出席が厳しい状態。”

“研修参加の為の費用がないのと、その資格取得後の加算等がない。”

“特定行為を誰が行うかの判断は Dr であり、その判断につきまとう責任にプレッシャーがあるのではないかと。制度として Ns にやらせるのであれば判断も Ns 裁量、Ns 責任にした方がいいと感じる。”

“特定行為はリスクが高いものが多く、在宅で行うのは無理だと思う。”

これらの回答から、看護師の特定行為に対する機関属性ごとの認識を、一定程度窺い知ることが出来るといえるだろう。表 32 の結果からは、例えば「病院」においては、「人員不足」も他機関ほどに懸念材料とはなっていないことが分かる。このため、障害として考えていることが、より具体性を伴った事項となっている。例えば研修機関への「アクセス」であったり、実際に特定行為を実施する際に医師とどう協調をすすめるかを憂慮する「医師の理解不足」などは、その一例であると言えよう。

「有床診療所」においても、元々が小規模な医療機関であることが多いことも、「費用」に心配が及んだり、特定行為そのものの内容を踏まえて「自施設の業務との兼ね合い」を問題視する傾向の一因になっている可能性があると思われる。これが「介護施設（特養等）」になると、逆に規模が大きくなる傾向にあることもあってか、「費用」に関する心配は低下し、代わりに「人員不足」を反映してか、「長すぎるカリキュラム」を心配する回答が増えていることがわかる。「訪問看護ステーション」では、小規模機関が多いためか「有床診療所」と同様に「費用」を懸念する回答が散見されているが、一方、「有床診療所」とは異なり、「自施設の業務との兼ね合い」を不安視する回答はそれほど多くない。むしろ実際の特定行為の実施の際に発生すると思われる、医師との「責任の所在」を心配する声が出てきていることが、他の機関との違いとして浮かび上がってきている。

本研究の限界として、機関属性ごとに異なる時点のデータを用いたため、データの偏りの可能性があげられる。使用できる最新のデータを用いることにより、住所変更等により返送される数を減らし、回収率の向上とすることに努めた一方で、機関属性ごとで返送される割合に若干の差がみられた。また、都道府県ごとや機関属性ごとでサンプルの抽出率に差がみられるため、本結果のみで、都道府県ごとの差異や機関属性ごとの差異を結論づけることは難しい。しかしながら、本研究は、全国的な看護師の特定行為研修の認知度や受講のニーズを調査した初めての研究であり、国や都道府県あるいは指定研修機関になるであろう施設にとって有用な情報を提供するものである。また今後、都道府県ごと等、精緻な調査が実施されることが待たれる。

D. 結論

今回の調査によって、各医療機関における看護師の特定行為研修制度に対する関心を一定程度評価することができた。また、看護師の派遣や指定研修機関としての体制整備を具体的に検討する段階に至っている医療機関は総じて非常に限られていることも明らかとなり、制度の普及に向けたさらなる取り組みが必要であるだろう。その際には、本研究において「病院」、「有床診療所」、「介護施設（特養等）」、「訪問看護ステーション」の4種類の機関属性ごとに、回答者の属性や当制度への関心、ニーズの高い特定行為区分等について、差異がみられることが確認されたことから、地域の実情を踏まえて普及の取り組みを進めることが重要であることが示唆された。

一方で、自由記述については当制度に対する現場の具体的な意見が多く含まれている可能性があるものの、現時点ではまだ部分的な評価にとどまっており、十分な分析に至ることはできなかった。また、各都道府県から回答を得ることに成功したものの、地域差を十分に分析できるまでには至っておらず、今後の課題であり、特に自由記述部分については、今後も分析を続けていく予定である。

冒頭でも述べたように、医療提供体制の充実化の一環として考えても、看護師による特定行為がより円滑に実施される環境の確保は重要な課題のひとつである。そのためにも、本研究でとり上げたように、看護師の特定行為研修の受講ニーズを適切に評価して研修環境の充実化を目指すことは、2025年に向けた医療政策においても非常に重要な課題であり続けると考えられる。

(注)

- 1) 一部、位置づけの難しい回答等がみられたため、現時点では機関数は確定値ではない。

(参考文献)

1. 厚生労働省：看護師の特定行為研修の概要について
(http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/20160411_tokutei_1.pdf) (accessed May 28, 2017)
 2. 厚生労働省：第1回医道審議会保健師助産師看護師分科会看護師特定行為・研修部会、議事録
(<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/000066054.html>) (accessed May 28, 2017)
 3. 厚生労働省：リーフレット・「特定行為に関する看護師の研修制度が始まります」(医療関係者の皆さまへ)
(<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000128788.pdf>) (accessed May 28, 2017)
- G. 研究発表
 1. 論文、書籍発表
なし
 2. 学会発表等
 - 1) 加藤源太、「看護師による特定行為の提供活性化に向けた、特定行為研修の受講ニーズの評価」、看護師の特定行為研修シンポジウム、平成29年3月2日
 - 2) 加藤源太、「看護師による特定行為の提供活性化に向けた、特定行為研修の受講ニーズの評価」、第1回指定研修機関意見交換会、平成29年3月2日
 - H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)
なし

参 考 资 料

⑧ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか。
各特定行為区分毎に「1 とても思う」～「4 思わない」のいずれかをお選びください。
※ 特定行為区分の説明は、同封の特定行為リーフレットをご参照ください。

	1. とても 思う	2. 思う	3. あまり 思わない	4. 思わな い
1 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	1	2	3	4
2 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	1	2	3	4
3 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	1	2	3	4
4 循環器関連	1	2	3	4
5 心嚢ドレーン管理関連	1	2	3	4
6 胸腔ドレーン管理関連	1	2	3	4
7 腹腔ドレーン管理関連	1	2	3	4
8 ろう孔管理関連	1	2	3	4
9 栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理)関連	1	2	3	4
10 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型 中心静脈注射用カテーテル管理)関連	1	2	3	4
11 創傷管理関連	1	2	3	4
12 創部ドレーン管理関連	1	2	3	4
13 動脈血液ガス分析関連	1	2	3	4
14 透析管理関連	1	2	3	4
15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	1	2	3	4
16 感染に係る薬剤投与関連	1	2	3	4
17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	1	2	3	4
18 術後疼痛管理関連	1	2	3	4
19 循環動態に係る薬剤投与関連	1	2	3	4
20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	1	2	3	4
21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連	1	2	3	4

⑨ あなたの施設では、平成29年度と平成30年度中に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか。あり、なしのどちらかに一方に○をつけてください。

	1. あり	2. なし
1 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	1. あり	2. なし
2 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	1. あり	2. なし
3 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	1. あり	2. なし
4 循環器関連	1. あり	2. なし
5 心嚢ドレーン管理関連	1. あり	2. なし
6 胸腔ドレーン管理関連	1. あり	2. なし
7 腹腔ドレーン管理関連	1. あり	2. なし
8 ろう孔管理関連	1. あり	2. なし
9 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	1. あり	2. なし
10 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	1. あり	2. なし
11 創傷管理関連	1. あり	2. なし
12 創部ドレーン管理関連	1. あり	2. なし
13 動脈血液ガス分析関連	1. あり	2. なし
14 透析管理関連	1. あり	2. なし
15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	1. あり	2. なし
16 感染に係る薬剤投与関連	1. あり	2. なし
17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	1. あり	2. なし
18 術後疼痛管理関連	1. あり	2. なし
19 循環動態に係る薬剤投与関連	1. あり	2. なし
20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	1. あり	2. なし
21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連	1. あり	2. なし

(図2：調査票(3ページのうちの2ページ目))

⑩	あなたの施設は、特定行為研修に係る指定研修機関への申請を現時点で予定していますか。最も当てはまる数字1つに○をしてください。
	1 申請予定あり(施設長承認済み) 2 申請予定あり(施設長未承認) 3 現在申請予定は無いが、今後検討予定 4 申請予定なし
⑪	あなたの施設は、特定行為研修に係る協力施設になることを現時点で予定していますか。最も当てはまる数字1つに○をしてください。
	1 申請予定あり(施設長承認済み) 2 申請予定あり(施設長未承認) 3 現在申請予定は無いが、今後検討予定 4 申請予定なし
⑫	特定行為に係る看護師の研修制度の普及に際して、障害になっていると感じていることは何ですか。また、それを改善するためにはどういった対策が必要だとお考えですか。自由に記述してください。
	(ご回答は、「回答用紙」にご記入ください。) (個々の施設が特定されないように処理いたしますので、施設名などは記入しないようにお願いします。)

調査票は以上です。ご回答は「回答用紙」(薄緑A4用紙1枚分)をお願いします。
ご協力ありがとうございました。

(図 3 : 調査票 (3 ページのうちの 3 ページ目))

平成 29 年 1 月 4 日

各医療施設
各訪問看護ステーション
各介護老人福祉施設
各介護老人保健施設
施設管理者 殿

京都大学医学部附属病院
診療報酬センター 副センター長 加藤源太

「看護師の業務に関する調査 ―特定行為に係る看護師の研修制度について―」
ご協力をお願い

新春の候、貴施設におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、保健師助産師看護師法の改正により、平成 27 年 10 月から特定行為に係る看護師の研修制度が創設され、これまで全国 28 の施設が特定行為研修を行う指定研修機関として指定され、特定行為研修が開始されています。

この度、医療現場への本制度の円滑な普及に資する情報を収集するため、平成 28 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）におきまして厚生労働省より補助を受け、研究課題「看護師による特定行為の提供活性化に向けた、特定行為研修の受講ニーズの評価」（研究代表者：京都大学医学部附属病院 加藤源太）のための上記調査を実施しております。

つきましては、下記のとおり本調査に関する調査説明文書及び調査票、回答用紙、その他一式をご送付させていただきますので、ご回答をいただきたく存じます。

年始のご多用の折、大変恐れ入りますが、同封の書類一式をお読みのうえ回答用紙にご回答賜りますよう、お願い申し上げます。

記

(送付書類)

- ・ ご協力をお願い（本紙） 1 枚
- ・ 厚生労働省 事務連絡 1 枚
- ・ 特定行為研修リーフレット 2 枚（全体版 A3=1 枚、特定行為抜粋版 A4=1 枚）
- ・ 調査票 3 枚
- ・ 回答用紙 1 枚（ご回答後、本回答用紙のみ、ご返送ください）
- ・ 返信用封筒 1 枚（本年 2 月 10 日までにご投函をお願いします）

以上

(図 4 : 調査票に同封した協力依頼文面)

母集団		標本(188[47x4]セルごと)に施設を無作為抽出										標本抽出率(標本/母集団)			
合計	1.病院	2.有床診療所	3.介護施設	4.訪問看護	合計	1.病院	2.有床診療所	3.介護施設	4.訪問看護	合計	1.病院	2.有床診療所	3.介護施設	4.訪問看護	
36586	8448	7653	11740	8745	7896	1974	1974	1974	1974	21.6%	23.4%	25.8%	16.8%	22.6%	
1948	564	438	543	403	168	42	42	42	42	8.6%	7.4%	9.6%	7.7%	10.4%	
521	97	159	157	108	168	42	42	42	42	32.2%	43.3%	26.4%	26.8%	38.9%	
475	92	113	182	88	168	42	42	42	42	35.4%	45.7%	37.2%	23.1%	47.7%	
643	139	140	234	130	168	42	42	42	42	26.1%	30.2%	30.0%	17.9%	32.3%	
361	69	64	176	52	168	42	42	42	42	46.5%	60.9%	65.6%	23.9%	80.8%	
332	68	62	148	54	168	42	42	42	42	50.6%	61.8%	67.7%	28.4%	77.8%	
591	128	115	228	120	168	42	42	42	42	28.4%	32.8%	36.5%	18.4%	35.0%	
809	179	140	355	135	168	42	42	42	42	20.8%	23.5%	30.0%	11.8%	31.1%	
627	129	98	198	147	168	42	42	42	42	32.9%	39.3%	35.3%	21.2%	48.3%	
1400	343	225	514	318	168	42	42	42	42	26.8%	32.6%	42.9%	16.6%	28.6%	
1258	285	196	490	287	168	42	42	42	42	12.0%	12.2%	18.7%	8.2%	13.2%	
2574	651	390	669	864	168	42	42	42	42	13.4%	14.7%	21.4%	8.6%	14.6%	
1705	341	230	573	561	168	42	42	42	42	6.5%	6.5%	10.8%	6.3%	4.9%	
610	132	53	300	125	168	42	42	42	42	9.9%	12.3%	18.3%	7.3%	7.5%	
339	106	46	129	58	168	42	42	42	42	27.5%	31.8%	27.5%	14.0%	33.6%	
366	95	69	123	79	168	42	42	42	42	49.6%	39.6%	91.3%	32.6%	72.4%	
318	68	73	103	74	168	42	42	42	42	45.9%	44.2%	60.9%	34.1%	53.2%	
242	60	42	89	51	168	42	42	42	42	52.8%	61.8%	57.5%	40.8%	56.8%	
621	130	81	259	151	168	42	42	42	42	69.4%	70.0%	100.0%	47.2%	82.4%	
594	102	143	205	144	168	42	42	42	42	27.1%	32.3%	51.9%	16.2%	27.8%	
943	181	215	362	185	168	42	42	42	42	28.3%	41.2%	29.4%	20.5%	29.2%	
1611	323	354	435	499	168	42	42	42	42	17.8%	23.2%	19.5%	11.6%	22.7%	
546	100	97	223	126	168	42	42	42	42	10.4%	13.0%	11.9%	9.7%	8.4%	
296	57	43	114	82	168	42	42	42	42	30.8%	42.0%	43.3%	18.8%	33.3%	
694	170	97	220	207	168	42	42	42	42	56.8%	73.7%	97.7%	36.8%	51.2%	
2298	525	255	616	902	168	42	42	42	42	24.2%	24.7%	43.3%	19.1%	20.3%	
1568	351	229	492	496	168	42	42	42	42	7.3%	8.0%	16.5%	6.8%	4.7%	
378	76	44	153	105	168	42	42	42	42	10.7%	12.0%	18.3%	8.5%	8.5%	
395	83	75	131	106	168	42	42	42	42	44.4%	55.3%	95.5%	27.5%	40.0%	
235	44	42	102	47	168	42	42	42	42	42.5%	50.6%	56.0%	32.1%	39.6%	
290	51	43	129	67	168	42	42	42	42	71.5%	95.5%	100.0%	41.2%	89.4%	
696	165	158	238	135	168	42	42	42	42	57.9%	82.4%	97.7%	32.6%	62.7%	
976	244	211	424	230	168	42	42	42	42	24.1%	25.5%	26.6%	17.6%	31.1%	
542	147	131	164	100	168	42	42	42	42	17.2%	17.2%	19.9%	14.4%	18.3%	
419	111	123	117	68	168	42	42	42	42	31.0%	28.6%	32.1%	25.6%	42.0%	
388	90	108	137	53	168	42	42	42	42	40.1%	37.8%	34.1%	35.9%	61.8%	
617	141	188	172	116	168	42	42	42	42	43.3%	46.7%	38.9%	30.7%	79.2%	
357	130	83	91	53	168	42	42	42	42	27.2%	29.8%	22.3%	24.4%	36.2%	
1896	461	558	475	402	168	42	42	42	42	47.1%	32.3%	50.6%	46.2%	79.2%	
424	107	163	97	57	168	42	42	42	42	8.9%	9.1%	7.5%	8.8%	10.4%	
936	212	326	234	164	168	42	42	42	42	39.6%	39.3%	25.8%	43.3%	73.7%	
659	157	252	153	97	168	42	42	42	42	24.7%	27.8%	15.9%	23.9%	46.7%	
985	252	345	248	140	168	42	42	42	42	17.9%	19.8%	12.9%	17.9%	25.6%	
367	94	87	103	83	168	42	42	42	42	25.5%	26.8%	16.7%	27.5%	43.3%	
					168	42	42	42	42	30.9%	30.0%	25.3%	30.2%	42.4%	
					168	42	42	42	42	17.1%	16.7%	12.2%	16.9%	30.0%	
					168	42	42	42	42	45.8%	44.7%	48.3%	40.8%	50.6%	

(表1: 都道府県ごとの調査対象の母集団数及びサンプリング)

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	総数
対象数	8,448	7,653	11,740	8,745	36,586
抽出数	1,974	1,974	1,974	1,974	7,896
	内訳は、何れも47（都道府県）×42（施設）				
標本抽出率	23.4%	25.8%	16.8%	22.6%	21.6%
最も抽出率が高い都道府県	鳥取県 95.5%	山梨・鳥取 100%	山梨県 47.2%	鳥取県 89.4%	鳥取県 71.5%
最も抽出率が低い都道府県	東京都 6.5%	福岡県 7.5%	東京都 6.3%	大阪府 4.7%	東京都 6.5%

（表2：調査対象の標本抽出率）

回収状況概要

	依頼施設数	無効施設数	有効施設数	回収数	回収率	回収内内訳
病院	1,974	0	1,974	919	46.6%	25.7%
有床診療所	1,974	3	1,971	842	42.7%	23.6%
介護施設(特養等)	1,974	3	1,971	737	37.4%	20.6%
訪問看護ステーション	1,974	58	1,916	933	48.7%	26.1%
施設不明回答	0	0		141	-	3.9%
Total	7,896	64	7,832	3,572	45.6%	100%

参照：回収履歴

	月	火	水	木	金	計
1週目(1/9)	55	305	85	259	390	1,094
2週目(1/16)	623	57	144	172	125	1,121
3週目(1/23)	265	28	82	83	53	511
4週目(1/30)	150	23	58	40	47	318
5週目(2/6)	133	17	54	56	62	322
6週目(2/13)	124	10	18	17	10	179
7週目(2/20)	11	1	7	4	x	23
ほか						4
計	1,226	430	423	610	677	3,572

投函締切：2017年2月10日、回収締切：2017年2月23日

（表3：回収状況の概要）

回収状況：都道府県別

	対象施設数				回収施設数				回収率				
	病院	有床診療所	合計	対象施設数(%)	病院	有床診療所	合計	回収施設数(%)	病院	有床診療所	合計	回収率(%)	Total
北海道	42	42	167	41	24	29	88	26.2%	57.1%	69.0%	26.2%	58.5%	52.7%
青森	42	42	168	42	25	17	88	21	58.5%	40.5%	50.0%	59.5%	52.4%
岩手	42	42	168	42	24	23	88	21	57.1%	54.8%	50.0%	47.6%	48.1%
宮城	42	42	165	40	24	15	76	15	57.1%	35.7%	36.8%	55.0%	39.5%
秋田	42	42	167	42	15	17	66	16	35.7%	40.5%	39.0%	42.8%	48.2%
山形	42	42	166	40	22	19	80	18	52.4%	45.2%	42.9%	52.5%	43.4%
福島	42	42	166	40	17	23	72	10	40.5%	54.8%	23.8%	55.0%	43.5%
茨城	42	42	168	42	16	23	73	13	38.1%	54.8%	31.0%	50.0%	41.3%
栃木	42	42	167	41	14	22	69	11	33.3%	52.4%	26.2%	53.7%	44.0%
群馬	42	42	168	42	23	18	75	21	54.8%	42.9%	50.0%	50.0%	40.6%
埼玉	42	42	165	41	17	15	66	17	40.5%	35.7%	41.5%	42.5%	38.2%
千葉	42	42	165	39	16	14	63	17	38.1%	33.3%	40.5%	41.0%	42.6%
東京	42	42	162	36	17	14	69	20	40.5%	33.3%	47.6%	50.0%	36.9%
神奈川	42	42	168	42	17	14	62	11	40.5%	33.3%	26.2%	47.6%	50.6%
新潟	42	42	168	42	26	20	85	18	59.5%	47.6%	42.9%	52.4%	42.5%
富山	42	42	167	41	21	17	71	12	50.0%	40.5%	28.6%	51.2%	47.8%
石川	42	42	168	42	23	22	87	22	54.8%	52.4%	52.4%	47.6%	50.0%
福井	42	42	168	42	17	22	84	18	40.5%	52.4%	42.9%	64.3%	42.3%
山梨	42	42	168	42	20	20	71	13	47.6%	47.6%	31.0%	42.9%	47.6%
長野	42	42	168	42	18	18	80	18	42.9%	42.9%	42.9%	61.9%	39.3%
岐阜	42	42	168	42	17	22	66	12	40.5%	52.4%	28.6%	52.6%	41.5%
静岡	42	42	164	38	16	16	68	16	38.1%	38.1%	38.1%	41.5%	46.3%
愛知	42	42	167	41	16	14	56	9	38.1%	33.3%	21.4%	39.5%	51.8%
三重	42	42	164	38	24	13	76	24	57.1%	31.0%	57.1%	50.0%	33.7%
滋賀	42	42	166	40	23	17	86	21	54.8%	40.5%	50.0%	56.4%	39.4%
京都	42	42	165	39	28	18	85	17	66.7%	42.9%	40.5%	62.4%	45.8%
大阪	42	42	166	40	10	16	56	11	23.8%	38.1%	26.2%	47.5%	44.0%
兵庫	42	42	165	39	20	14	65	10	47.6%	33.3%	50.0%	25.6%	45.2%
奈良	42	42	166	41	26	14	91	26	61.9%	34.1%	61.9%	61.0%	40.7%
和歌山	42	42	168	42	19	25	77	11	45.2%	59.5%	26.2%	52.4%	43.7%
鳥取	42	42	168	42	24	15	74	24	57.1%	35.7%	57.1%	26.2%	42.2%
島根	42	42	168	42	25	14	76	17	59.5%	33.3%	40.5%	47.6%	40.1%
岡山	42	42	167	41	21	10	68	18	50.0%	23.8%	42.9%	46.3%	44.0%
広島	42	42	167	41	22	23	76	10	52.4%	54.8%	23.8%	51.2%	45.5%
山口	42	42	168	42	13	18	74	19	31.0%	42.9%	45.2%	57.1%	25.3%
徳島	42	42	166	41	10	10	42	7	23.8%	24.4%	16.7%	36.6%	43.7%
香川	42	42	167	41	19	16	73	16	45.2%	38.1%	38.1%	47.6%	43.7%
愛媛	42	42	168	42	15	20	67	12	35.7%	47.6%	28.6%	53.7%	40.7%
高知	42	42	167	41	16	20	73	16	38.1%	47.6%	38.1%	51.2%	38.3%
福岡	42	42	167	41	16	13	64	13	38.1%	31.0%	45.2%	39.0%	39.8%
佐賀	42	42	166	40	15	19	66	13	35.7%	45.2%	31.0%	47.5%	45.5%
長崎	42	42	165	39	21	17	75	18	50.0%	40.5%	42.9%	48.7%	40.1%
熊本	42	42	167	41	25	23	91	22	59.5%	54.8%	52.4%	51.2%	46.7%
大分	42	42	166	41	24	9	78	9	57.1%	46.3%	21.4%	43.9%	35.2%
宮崎	42	42	167	41	19	23	78	9	45.2%	54.8%	21.4%	65.8%	48.7%
鹿児島	42	42	167	41	22	15	67	9	52.4%	35.7%	21.4%	51.2%	48.7%
沖縄	42	42	165	39	18	16	58	8	42.9%	38.1%	19.0%	41.0%	43.8%
Total	1,974	1,971	7,832	1,916	919	842	3,431	737	46.6%	42.7%	37.4%	48.7%	43.8%

↑赤字は閉鎖・休止等により42件割れのセル
青字は30%未満
赤字は50%以上

(表4：都道府県別の回収状況)

単純集計：施設種別

Q1 回答される方の役職を教えてください。

	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計
Total	919	842	737	933	141	3,572	100%	100%	100%	100%	100%	
1.施設長	19	288	140	242	40	729	2.1%	34.2%	19.0%	25.9%	28.4%	20.4%
2.看護部長	732	155	155	39	40	1121	79.7%	18.4%	21.0%	4.2%	28.4%	31.4%
3.事務長	54	163	48	7	6	278	5.9%	19.4%	6.5%	0.8%	4.3%	7.8%
4.その他	112	224	392	637	54	1419	12.2%	26.6%	53.2%	68.3%	38.3%	39.7%
x.無回答	2	12	2	8	1	25	0.2%	1.4%	0.3%	0.9%	0.7%	0.7%

Q2 平成28年12月1日現在であなたの施設に常勤の看護師は在籍していますか。

	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計
Total	919	842	737	933	141		100%	100%	100%	100%	100%	
1.看護師在籍あり	876	738	705	909	133	3361	95.3%	87.6%	95.7%	97.4%	94.3%	94.1%
2.看護師在籍なし	39	97	28	19	8	191	4.2%	11.5%	4.3%	2.6%	5.7%	5.9%
x.無回答	4	7	4	5	0	20	0.4%	0.8%	0.5%	0.5%	0.0%	0.6%

Q3 あなたの施設には特定行為研修を修了又は受講中の看護師は在籍していますか。

	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計
Total	919	842	737	933	141		100%	100%	100%	100%	100%	
1.研修した看護師在籍あり	51	6	17	15	4	93	5.5%	0.7%	2.3%	1.6%	2.8%	2.6%
2.研修した看護師在籍なし	854	793	690	900	134	3371	92.9%	94.2%	93.6%	96.5%	95.0%	94.4%
3.わからない	12	35	29	13	2	91	1.3%	4.2%	3.9%	1.4%	1.4%	2.5%
x.無回答	2	8	1	5	1	17	0.2%	1.0%	0.1%	0.5%	0.7%	0.5%

Q4 あなたは看護師の特定行為研修を知っていましたか。

	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計
Total	919	842	737	933	141		100%	100%	100%	100%	100%	
1.看護師の特定研修を知っている	876	418	388	780	99	2561	95.3%	49.6%	52.6%	83.6%	70.2%	71.7%
2.看護師の特定研修を知らない	41	417	347	148	42	995	4.5%	49.5%	47.1%	15.9%	29.8%	27.9%
x.無回答	2	7	2	5	0	16	0.2%	0.8%	0.3%	0.5%	0.0%	0.4%

Q5 あなたはこのリーフレットを見たことはありませんか。

	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計
Total	919	842	737	933	141		100%	100%	100%	100%	100%	
1.このリーフレット見たことあり	640	139	167	457	55	1458	69.6%	16.5%	22.7%	49.0%	39.0%	40.8%
2.このリーフレット見たことなし	277	696	569	471	86	2099	30.1%	82.7%	77.2%	50.5%	61.0%	58.8%
x.無回答	2	7	1	5	0	15	0.2%	0.8%	0.1%	0.5%	0.0%	0.4%

Q6 あなたはこのリーフレットを見て、看護師の特定行為研修に関心を持ちましたか。

	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計
Total	919	842	737	933	141		100%	100%	100%	100%	100%	
1.このリーフレット見て特定行為研修に関心を持った	761	521	569	753	95	2699	82.8%	61.9%	77.2%	80.7%	67.4%	75.6%
2.このリーフレット見て特定行為研修に関心持たなかった	154	312	166	171	45	848	16.8%	37.1%	22.5%	18.3%	31.9%	23.7%
x.無回答	4	9	2	9	1	25	0.4%	1.1%	0.3%	1.0%	0.7%	0.7%

Q7 あなたはこのリーフレットを見て、将来あなたの施設の看護師に特定行為研修を受講させたいと思いませんか。

	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計
Total	919	842	737	933	141		100%	100%	100%	100%	100%	
1.このリーフレットを見て受講させたいと思った	393	210	252	387	60	1302	42.8%	24.9%	34.2%	41.5%	42.6%	36.5%
2.このリーフレットを見て受講させたくないと思った	102	106	69	66	12	355	11.1%	12.6%	9.4%	7.1%	8.5%	9.9%
3.わからない	416	518	411	471	69	1885	45.3%	61.5%	55.8%	50.5%	48.9%	52.8%
x.無回答	8	8	5	9	0	30	0.9%	1.0%	0.7%	1.0%	0.0%	0.8%

Q10 あなたの施設は、特定行為研修に係る指定研修機関への申請を現時点で予定していますか。

	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計
Total	919	842	737	933	141		100%	100%	100%	100%	100%	
1.申請予定あり_施設長承認済み	16	3	6	8	2	35	1.7%	0.4%	0.8%	0.9%	1.4%	1.0%
2.申請予定あり_施設長未承認	8	0	3	4	2	17	0.9%	0.0%	0.4%	0.4%	1.4%	0.5%
3.現在申請予定は無いが今後検討予定	124	84	123	201	32	564	13.5%	10.0%	16.7%	21.5%	22.7%	15.8%
4.申請予定なし	754	738	583	695	101	2871	82.0%	87.6%	79.1%	74.5%	71.6%	80.4%
x.無回答	17	17	22	25	4	85	1.8%	2.0%	3.0%	2.7%	2.8%	2.4%

Q11 あなたの施設は、特定行為研修に係る協力施設になることを現時点で予定していますか。

	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計	病院	有床診療所	介護施設(特養等)	訪問看護ステーション	施設不明回答	合計
Total	919	842	737	933	141		100%	100%	100%	100%	100%	
1.申請予定あり_施設長承認済み	27	1	6	8	0	42	2.9%	0.1%	0.8%	0.9%	0.0%	1.2%
2.申請予定あり_施設長未承認	3	0	3	1	1	8	0.3%	0.0%	0.4%	0.1%	0.7%	0.2%
3.現在申請予定は無いが今後検討予定	68	46	67	91	22	294	7.4%	5.5%	9.1%	9.8%	15.6%	8.2%
4.申請予定なし	804	778	638	806	114	3140	87.5%	92.4%	86.6%	86.4%	80.9%	87.9%
x.無回答	17	17	23	27	4	88	1.8%	2.0%	3.1%	2.9%	2.8%	2.5%

(表5：単純集計・施設種別ごと)

研修派遣意向・研修派遣予定の指数：特定行為別

	①呼吸「気道確保に係るもの」関連	②呼吸器「人工呼吸療法に係るもの」関連	③呼吸器「長期呼吸療法に係るもの」関連	④循環器関連	⑤心臓ドレーン管理関連	⑥胸腔ドレーン管理関連	⑦腹腔ドレーン管理関連	⑧ろう孔管理関連	⑨栄養に係るカテーテル管理	⑩栄養に係るカテーテル管理「栄養管理センター・栄養注・射用カテーテル管理」関連	⑪創傷管理関連	⑫創部ドレーン管理関連	⑬動脈血液ガス分析関連	⑭透析管理関連	⑮栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	⑯感染に係る薬剤投与関連	⑰血糖コントロールに係る薬剤投与関連	⑱術後疼痛管理関連	⑲循環動態に係る薬剤投与関連	⑳精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	㉑皮膚損傷に係る薬剤投与関連	合計
Q8 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか。 *「とても思う」+「思う」を全回答数で除した指数																					赤字は50%以上	
病院	51%	40%	49%	28%	10%	22%	23%	41%	46%	42%	66%	40%	35%	27%	57%	49%	55%	36%	29%	41%	47%	40%
有床診療所	37%	25%	24%	23%	11%	14%	16%	25%	30%	29%	46%	31%	21%	17%	42%	43%	40%	33%	25%	26%	31%	28%
介護施設(特養等)	32%	16%	23%	23%	4%	5%	6%	37%	24%	25%	60%	19%	10%	12%	57%	58%	53%	13%	23%	52%	39%	28%
訪問看護ステーション	50%	49%	60%	38%	15%	20%	25%	54%	51%	50%	76%	44%	24%	27%	72%	62%	65%	31%	34%	47%	51%	45%
施設不明回答	43%	39%	42%	29%	11%	16%	18%	35%	35%	34%	60%	35%	21%	22%	50%	47%	53%	34%	28%	36%	45%	35%
合計	43%	34%	41%	28%	10%	16%	18%	40%	39%	37%	62%	35%	23%	21%	57%	53%	54%	29%	28%	41%	43%	36%
Q9 あなたの施設では、平成29年度と平成30年度中に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか。 *「予定あり」を全回答で除した指数																					赤字は3%以上	
病院	3.6%	4.1%	4.0%	2.4%	1.5%	1.6%	1.7%	3.3%	2.8%	2.9%	5.9%	2.9%	2.6%	2.1%	5.1%	2.9%	4.1%	2.0%	2.1%	2.7%	2.9%	3.0%
有床診療所	2.0%	1.0%	0.7%	0.8%	0.4%	0.4%	0.6%	1.3%	2.3%	2.3%	3.1%	2.0%	1.1%	1.2%	2.7%	2.9%	2.6%	2.3%	1.5%	1.7%	2.5%	1.7%
介護施設(特養等)	1.9%	1.2%	1.6%	1.6%	0.7%	0.4%	0.5%	2.2%	1.8%	1.8%	3.3%	1.1%	0.9%	0.9%	3.5%	4.2%	3.7%	1.1%	1.6%	3.7%	2.8%	1.9%
訪問看護ステーション	1.4%	1.8%	1.6%	1.2%	0.8%	0.8%	0.8%	1.7%	2.1%	2.4%	3.3%	1.2%	0.9%	1.0%	3.0%	2.1%	2.5%	1.3%	1.5%	2.4%	2.5%	1.7%
施設不明回答	4.3%	2.8%	0.7%	2.1%	0.0%	0.7%	0.0%	2.8%	2.1%	3.5%	5.0%	3.5%	1.4%	1.4%	5.7%	3.5%	4.3%	2.1%	2.8%	4.3%	4.3%	2.7%
合計	2.3%	2.1%	2.0%	1.5%	0.8%	0.8%	0.9%	2.2%	2.3%	2.4%	4.0%	1.9%	1.4%	1.3%	3.7%	3.0%	3.2%	1.7%	1.7%	2.6%	2.7%	2.1%

(表6：研修派遣の意向および派遣予定について：特定行為別)

研修派遣意向・研修派遣予定の集計: 特定行為別											
		1_呼吸器(気道確保に係るもの)関連	2_呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	3_呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	4_循環器関連	5_心臓ドレーン管理関連	6_胸腔ドレーン管理関連	7_腹腔ドレーン管理関連	8_ろう孔管理関連	9_栄養に係るカテーテル管理	10_栄養に係るカテーテル管理(未残留型中心静脈注射用カテーテル管理)関連
Q8 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか。											
病院	未回答	12	13	12	22	17	16	17	49	48	49
	1.とても思う	148	124	152	64	20	43	46	117	130	121
	2.思う	320	246	301	190	71	155	163	263	297	267
	3.あまり思わない	218	272	229	296	322	299	286	250	237	248
	4.思わない	221	264	225	347	489	406	407	240	207	234
	Total	919	919	919	919	919	919	919	919	919	919
有床診療所	未回答	18	20	22	24	24	23	24	75	78	79
	1.とても思う	71	42	42	33	17	21	20	41	68	65
	2.思う	238	171	161	163	76	97	114	169	186	183
	3.あまり思わない	208	257	263	263	284	271	261	218	191	201
	4.思わない	307	352	354	359	441	430	423	339	319	314
	Total	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842
介護施設(特養等)	未回答	14	15	18	16	19	18	18	46	46	46
	1.とても思う	61	20	31	28	4	5	5	75	47	47
	2.思う	176	101	142	140	26	33	36	197	128	138
	3.あまり思わない	201	242	239	226	258	255	253	176	203	206
	4.思わない	285	359	307	327	430	426	425	243	313	300
	Total	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737
訪問看護ステーション	未回答	7	10	9	6	7	9	12	45	44	44
	1.とても思う	130	146	188	86	25	39	52	171	155	156
	2.思う	341	308	373	264	115	149	185	335	322	307
	3.あまり思わない	271	275	207	319	415	399	373	228	240	228
	4.思わない	184	194	156	258	371	337	311	154	172	198
	Total	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933
施設不明回答	未回答	4	5	5	6	5	5	7	7	5	6
	1.とても思う	25	18	19	10	2	3	3	16	20	26
	2.思う	36	37	40	31	13	19	23	33	30	22
	3.あまり思わない	33	34	31	41	49	45	46	36	42	40
	4.思わない	43	47	46	53	72	69	62	49	44	47
	Total	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141
Q9 あなたの施設では、平成29年度と平成30年度中に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか。											
病院	未回答	14	14	16	16	14	13	14	73	71	72
	1.あり	33	38	37	22	14	15	16	30	26	27
	2.なし	872	867	866	881	891	891	889	816	822	820
		Total	919	919	919	919	919	919	919	919	919
有床診療所	未回答	24	24	29	26	26	27	27	90	89	88
	1.あり	17	8	6	7	3	3	5	11	19	19
	2.なし	801	810	807	809	813	812	810	741	734	735
	Total	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842
介護施設(特養等)	未回答	17	18	24	20	18	18	18	64	64	63
	1.あり	14	9	12	12	5	3	4	16	13	13
	2.なし	706	710	701	705	714	716	715	657	660	661
	Total	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737
訪問看護ステーション	未回答	18	21	20	23	20	19	20	78	81	81
	1.あり	13	17	15	11	7	7	7	16	20	22
	2.なし	902	895	898	899	906	907	906	839	832	830
	Total	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933
施設不明回答	未回答	7	8	8	8	8	8	8	9	9	8
	1.あり	6	4	1	3	0	1	0	4	3	5
	2.なし	128	129	132	130	133	132	133	128	129	128
	Total	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141

(表7: 研修派遣意向・研修派遣予定の集計: 特定行為区分別(区分1~区分10))

研修派遣意向・研修派遣予定の集計：特定行為別

		11_創傷管理 関連	12_創部 レール管理 関連	13_動脈血液 ガス分析関連	14_透析管理 関連	15_栄養及び 水分管理に 係る薬剤投与 関連	16_感染に係 る薬剤投与 関連	17_血糖コン トロールに係 る薬剤投与 関連	18_術後疼痛 管理関連	19_循環動態 に係る薬剤投 与関連	20_精神及び 神経症状に 係る薬剤投与 関連	21_皮膚損傷 に係る薬剤投 与関連
Q8 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか。												
病院	未回答	46	49	50	49	14	12	12	17	16	16	14
	1.とても思う	224	118	101	75	176	134	164	100	74	94	136
	2.思う	381	252	218	171	347	313	342	230	193	280	294
	3.あまり思わない	141	262	275	244	225	273	218	255	331	300	251
	4.思わない	127	238	275	380	157	187	183	317	305	229	224
	Total	919	919	919	919	919	919	919	919	919	919	919
有床診療所	未回答	73	79	79	79	23	24	27	25	28	24	28
	1.とても思う	107	56	35	42	85	85	85	66	39	46	61
	2.思う	279	202	143	104	269	277	253	213	174	174	202
	3.あまり思わない	153	216	249	232	182	188	194	216	267	265	222
	4.思わない	230	289	336	385	283	268	283	322	334	333	329
	Total	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842
介護施設(特養等)	未回答	39	47	46	48	13	11	14	18	16	12	15
	1.とても思う	165	36	12	21	129	140	123	21	42	117	89
	2.思う	274	106	64	65	294	286	265	72	131	265	201
	3.あまり思わない	132	230	243	216	150	152	167	229	219	148	160
	4.思わない	127	318	372	387	151	148	168	397	329	195	272
	Total	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737
訪問看護ステーション	未回答	43	47	47	49	8	8	8	9	10	7	7
	1.とても思う	321	134	50	64	253	205	220	66	87	123	188
	2.思う	389	280	175	187	420	375	385	219	233	315	292
	3.あまり思わない	108	283	368	327	143	210	194	333	342	282	255
	4.思わない	72	189	293	306	109	135	126	306	261	206	191
	Total	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933
施設不明回答	未回答	4	4	4	4	4	4	4	4	7	5	6
	1.とても思う	40	18	11	12	30	27	37	15	13	18	25
	2.思う	45	31	19	19	40	39	38	33	26	33	38
	3.あまり思わない	20	36	43	42	31	36	30	37	42	38	31
	4.思わない	32	52	64	64	36	35	32	52	53	47	41
	Total	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141
Q9 あなたの施設では、平成29年度と平成30年度中に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか。												
病院	未回答	70	70	76	72	15	16	15	16	17	17	17
	1.あり	54	27	24	19	47	27	38	18	19	25	27
	2.なし	795	822	819	828	857	876	866	885	883	877	875
	Total	919	919	919	919	919	919	919	919	919	919	919
有床診療所	未回答	86	89	88	87	29	26	28	28	31	31	28
	1.あり	26	17	9	10	23	24	22	19	13	14	21
	2.なし	730	736	745	745	790	792	792	795	798	797	793
	Total	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842
介護施設(特養等)	未回答	65	65	65	65	19	18	19	20	20	19	18
	1.あり	24	8	7	7	26	31	27	8	12	27	21
	2.なし	648	664	665	665	692	688	691	709	705	691	698
	Total	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737
訪問看護ステーション	未回答	79	82	81	81	19	20	19	19	20	21	16
	1.あり	31	11	8	9	28	20	23	12	14	22	23
	2.なし	823	840	844	843	886	893	891	902	899	890	894
	Total	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933
施設不明回答	未回答	9	8	9	9	7	7	8	8	8	7	7
	1.あり	7	5	2	2	8	5	6	3	4	6	6
	2.なし	125	128	130	130	126	129	127	130	129	128	128
	Total	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141

(表8：研修派遣意向・研修派遣予定の集計：特定行為区分別(区分11～区分21))

各特定行為区分に対する認識・意向：病院

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	循環器関連	心臓ドレーン管理関連	胸腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーン管理関連	ろう孔管理関連	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	創傷管理関連	創部ドレーン管理関連	動脈血液ガス分析関連	透析管理関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	感染に係る薬剤投与関連	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	術後疼痛管理関連	循環動態に係る薬剤投与関連	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	皮膚損傷に係る薬剤投与関連
（受講させたいか否か）																				
51%	40%	49%	28%	10%	22%	23%	41%	47%	42%	66%	40%	35%	27%	57%	49%	55%	36%	29%	41%	47%
（看護師派遣の予定はあるか）																				
3.8%	4.3%	4.2%	2.6%	1.7%	1.8%	2.0%	3.5%	3.0%	3.1%	6.1%	3.1%	2.8%	2.3%	5.3%	3.1%	4.3%	2.2%	2.3%	2.9%	3.1%

（表 9：各特定行為区分に対する認識・意向：病院）

各特定行為区分に対する認識・意向：有床診療所

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	循環器関連	心臓ドレーン管理関連	胸腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーン管理関連	ろう孔管理関連	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	創傷管理関連	創部ドレーン管理関連	動脈血液ガス分析関連	透析管理関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	感染に係る薬剤投与関連	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	術後疼痛管理関連	循環動態に係る薬剤投与関連	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	皮膚損傷に係る薬剤投与関連
（受講させたいか否か）																				
37%	26%	24%	24%	12%	14%	16%	25%	30%	30%	46%	31%	21%	18%	42%	43%	40%	33%	26%	26%	31%
（看護師派遣の予定はあるか）																				
2.2%	1.2%	0.9%	1.1%	0.6%	0.6%	0.8%	1.5%	2.5%	2.5%	3.3%	2.2%	1.3%	1.4%	3.0%	3.1%	2.8%	2.5%	1.8%	1.9%	2.7%

（表 10：各特定行為区分に対する認識・意向：有床診療所）

各特定行為区分に対する認識・意向：介護施設

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	循環器関連	心臓ドレーン管理関連	胸腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーン管理関連	ろう孔管理関連	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	栄養に係るカテーテル管理（未梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	創傷管理関連	創部ドレーン管理関連	動脈血液ガス分析関連	透析管理関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	感染に係る薬剤投与関連	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	術後疼痛管理関連	循環動態に係る薬剤投与関連	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	皮膚損傷に係る薬剤投与関連
(受講させたいか否か)																				
32%	17%	24%	23%	5%	6%	6%	37%	24%	25%	59%	20%	11%	12%	57%	58%	53%	13%	24%	52%	39%
(看護師派遣の予定はあるか)																				
2.2%	1.5%	1.9%	1.9%	0.9%	0.7%	0.8%	2.4%	2.0%	2.0%	3.5%	1.4%	1.2%	1.2%	3.8%	4.5%	3.9%	1.4%	1.9%	3.9%	3.1%

（表 11：各特定行為区分に対する認識・意向：介護施設）

各特定行為区分に対する認識・意向：訪問看護

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	循環器関連	心臓ドレーン管理関連	胸腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーン管理関連	ろう孔管理関連	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	栄養に係るカテーテル管理（未梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	創傷管理関連	創部ドレーン管理関連	動脈血液ガス分析関連	透析管理関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	感染に係る薬剤投与関連	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	術後疼痛管理関連	循環動態に係る薬剤投与関連	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	皮膚損傷に係る薬剤投与関連
(受講させたいか否か)																				
50%	49%	60%	38%	15%	20%	26%	54%	51%	50%	76%	44%	24%	27%	72%	62%	65%	31%	34%	47%	51%
(看護師派遣の予定はあるか)																				
1.6%	2.0%	1.8%	1.4%	1.0%	1.0%	1.0%	1.9%	2.4%	2.6%	3.5%	1.4%	1.1%	1.2%	3.2%	2.4%	2.7%	1.5%	1.7%	2.6%	2.7%

（表 12：各特定行為区分に対する認識・意向：訪問看護ステーション）

研修派遣意向・研修派遣予定の集計：特定行為別											
		1_呼吸器(気道確保に係るもの)関連	2_呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	3_呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	4_循環器関連	5_心臓ドレーン管理関連	6_胸腔ドレーン管理関連	7_腹腔ドレーン管理関連	8_ろう孔管理関連	9_栄養に係るカテーテル管理	10_栄養に係るカテーテル管理(未残留型中心静脈注射用カテーテル管理)関連
Q8 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか。											
病院	未回答	12	13	12	22	17	16	17	49	48	49
	1.とても思う	148	124	152	64	20	43	46	117	130	121
	2.思う	320	246	301	190	71	155	163	263	297	267
	3.あまり思わない	218	272	229	296	322	299	286	250	237	248
	4.思わない	221	264	225	347	489	406	407	240	207	234
	Total	919	919	919	919	919	919	919	919	919	919
有床診療所	未回答	18	20	22	24	24	23	24	75	78	79
	1.とても思う	71	42	42	33	17	21	20	41	68	65
	2.思う	238	171	161	163	76	97	114	169	186	183
	3.あまり思わない	208	257	263	263	284	271	261	218	191	201
	4.思わない	307	352	354	359	441	430	423	339	319	314
	Total	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842
介護施設(特養等)	未回答	14	15	18	16	19	18	18	46	46	46
	1.とても思う	61	20	31	28	4	5	5	75	47	47
	2.思う	176	101	142	140	26	33	36	197	128	138
	3.あまり思わない	201	242	239	226	258	255	253	176	203	206
	4.思わない	285	359	307	327	430	426	425	243	313	300
	Total	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737
訪問看護ステーション	未回答	7	10	9	6	7	9	12	45	44	44
	1.とても思う	130	146	188	86	25	39	52	171	155	156
	2.思う	341	308	373	264	115	149	185	335	322	307
	3.あまり思わない	271	275	207	319	415	399	373	228	240	228
	4.思わない	184	194	156	258	371	337	311	154	172	198
	Total	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933
施設不明回答	未回答	4	5	5	6	5	5	7	7	5	6
	1.とても思う	25	18	19	10	2	3	3	16	20	26
	2.思う	36	37	40	31	13	19	23	33	30	22
	3.あまり思わない	33	34	31	41	49	45	46	36	42	40
	4.思わない	43	47	46	53	72	69	62	49	44	47
	Total	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141
Q9 あなたの施設では、平成29年度と平成30年度中に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか。											
病院	未回答	14	14	16	16	14	13	14	73	71	72
	1.あり	33	38	37	22	14	15	16	30	26	27
	2.なし	872	867	866	881	891	891	889	816	822	820
	Total	919	919	919	919	919	919	919	919	919	919
有床診療所	未回答	24	24	29	26	26	27	27	90	89	88
	1.あり	17	8	6	7	3	3	5	11	19	19
	2.なし	801	810	807	809	813	812	810	741	734	735
	Total	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842
介護施設(特養等)	未回答	17	18	24	20	18	18	18	64	64	63
	1.あり	14	9	12	12	5	3	4	16	13	13
	2.なし	706	710	701	705	714	716	715	657	660	661
	Total	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737
訪問看護ステーション	未回答	18	21	20	23	20	19	20	78	81	81
	1.あり	13	17	15	11	7	7	7	16	20	22
	2.なし	902	895	898	899	906	907	906	839	832	830
	Total	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933
施設不明回答	未回答	7	8	8	8	8	8	8	9	9	8
	1.あり	6	4	1	3	0	1	0	4	3	5
	2.なし	128	129	132	130	133	132	133	128	129	128
	Total	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141

(表 13：研修派遣意向・研修派遣予定の集計：特定行為区分別(区分1～区分10))

研修派遣意向・研修派遣予定の集計：特定行為別

		11_創傷管理 関連	12_創部 レール管理 関連	13_動脈血液 ガス分析 関連	14_透析管理 関連	15_栄養及び 水分管理に 係る薬剤投 与関連	16_感染に係 る薬剤投与 関連	17_血糖コン トロールに係 る薬剤投与 関連	18_術後疼痛 管理関連	19_循環動態 に係る薬剤 投与関連	20_精神及び 神経症状に 係る薬剤投 与関連	21_皮膚損傷 に係る薬剤 投与関連
Q8 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか。												
病院	未回答	46	49	50	49	14	12	12	17	16	16	14
	1.とても思う	224	118	101	75	176	134	164	100	74	94	136
	2.思う	381	252	218	171	347	313	342	230	193	280	294
	3.あまり思わない	141	262	275	244	225	273	218	255	331	300	251
	4.思わない	127	238	275	380	157	187	183	317	305	229	224
	Total	919	919	919	919	919	919	919	919	919	919	919
有床診療所	未回答	73	79	79	79	23	24	27	25	28	24	28
	1.とても思う	107	56	35	42	85	85	85	66	39	46	61
	2.思う	279	202	143	104	269	277	253	213	174	174	202
	3.あまり思わない	153	216	249	232	182	188	194	216	267	265	222
	4.思わない	230	289	336	385	283	268	283	322	334	333	329
	Total	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842
介護施設(特養等)	未回答	39	47	46	48	13	11	14	18	16	12	15
	1.とても思う	165	36	12	21	129	140	123	21	42	117	89
	2.思う	274	106	64	65	294	286	265	72	131	265	201
	3.あまり思わない	132	230	243	216	150	152	167	229	219	148	160
	4.思わない	127	318	372	387	151	148	168	397	329	195	272
	Total	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737
訪問看護ステーション	未回答	43	47	47	49	8	8	8	9	10	7	7
	1.とても思う	321	134	50	64	253	205	220	66	87	123	188
	2.思う	389	280	175	187	420	375	385	219	233	315	292
	3.あまり思わない	108	283	368	327	143	210	194	333	342	282	255
	4.思わない	72	189	293	306	109	135	126	306	261	206	191
	Total	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933
施設不明回答	未回答	4	4	4	4	4	4	4	4	7	5	6
	1.とても思う	40	18	11	12	30	27	37	15	13	18	25
	2.思う	45	31	19	19	40	39	38	33	26	33	38
	3.あまり思わない	20	36	43	42	31	36	30	37	42	38	31
	4.思わない	32	52	64	64	36	35	32	52	53	47	41
	Total	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141
Q9 あなたの施設では、平成29年度と平成30年度中に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか。												
病院	未回答	70	70	76	72	15	16	15	16	17	17	17
	1.あり	54	27	24	19	47	27	38	18	19	25	27
	2.なし	795	822	819	828	857	876	866	885	883	877	875
		Total	919	919	919	919	919	919	919	919	919	919
有床診療所	未回答	86	89	88	87	29	26	28	28	31	31	28
	1.あり	26	17	9	10	23	24	22	19	13	14	21
	2.なし	730	736	745	745	790	792	792	795	798	797	793
		Total	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842
介護施設(特養等)	未回答	65	65	65	65	19	18	19	20	20	19	18
	1.あり	24	8	7	7	26	31	27	8	12	27	21
	2.なし	648	664	665	665	692	688	691	709	705	691	698
		Total	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737
訪問看護ステーション	未回答	79	82	81	81	19	20	19	19	20	21	16
	1.あり	31	11	8	9	28	20	23	12	14	22	23
	2.なし	823	840	844	843	886	893	891	902	899	890	894
		Total	933	933	933	933	933	933	933	933	933	933
施設不明回答	未回答	9	8	9	9	7	7	8	8	8	7	7
	1.あり	7	5	2	2	8	5	6	3	4	6	6
	2.なし	125	128	130	130	126	129	127	130	129	128	128
		Total	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141

(表 14：研修派遣意向・研修派遣予定の集計：特定行為区分別(区分 11～区分 21))

病院の研修派遣意向：特定行為別・都道府県別

①呼吸「気道確保に係るもの」関連	②呼吸器「人工呼吸療法に係るもの」関連	③呼吸器「長期呼吸療法に係るもの」関連	④循環器関連	⑤心臓ドレイン管理関連	⑥胸腔ドレイン管理関連	⑦腹腔ドレイン管理関連	⑧ろう孔管理関連	⑨栄養に係るカテーテル管理	⑩栄養に係るカテーテル管理「末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理」関連	⑪創傷管理関連	⑫創部ドレイン管理関連	⑬動脈血液ガス分析関連	⑭透析管理関連	⑮栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	⑯感染に係る薬剤投与関連	⑰血糖コントロールに係る薬剤投与関連	⑱術後疼痛管理関連	⑲循環動態に係る薬剤投与関連	⑳精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	㉑皮膚損傷に係る薬剤投与関連
------------------	---------------------	---------------------	--------	-------------	-------------	-------------	----------	---------------	--------------------------------------	---------	-------------	-------------	---------	--------------------	--------------	--------------------	-----------	----------------	--------------------	----------------

Q8 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか。 [病院] 赤字は50%以上																					
北海道	46%	33%	33%	25%	8%	17%	17%	38%	46%	46%	75%	42%	33%	25%	58%	46%	50%	33%	25%	46%	46%
青森	48%	32%	40%	40%	12%	20%	20%	20%	36%	36%	36%	28%	32%	20%	44%	52%	56%	24%	36%	40%	44%
岩手	38%	21%	29%	13%	0%	13%	17%	29%	21%	17%	38%	17%	25%	8%	33%	21%	46%	13%	17%	29%	21%
宮城	42%	33%	29%	13%	4%	13%	17%	33%	33%	25%	63%	25%	25%	25%	38%	38%	29%	29%	25%	42%	50%
秋田	47%	40%	53%	33%	7%	13%	13%	27%	40%	40%	67%	27%	27%	33%	47%	40%	27%	13%	20%	47%	
山形	50%	36%	50%	36%	14%	27%	27%	50%	45%	32%	73%	41%	45%	27%	77%	59%	64%	36%	27%	59%	55%
福島	41%	41%	41%	29%	6%	12%	18%	35%	47%	53%	47%	35%	29%	41%	65%	59%	59%	18%	29%	35%	47%
茨城	63%	50%	56%	25%	13%	19%	25%	56%	56%	38%	63%	44%	44%	19%	63%	56%	69%	25%	25%	31%	44%
栃木	50%	43%	50%	36%	7%	14%	14%	43%	43%	43%	64%	29%	36%	36%	57%	50%	57%	50%	36%	57%	43%
群馬	57%	57%	74%	35%	13%	39%	35%	61%	52%	52%	65%	57%	43%	43%	70%	61%	65%	52%	30%	52%	61%
埼玉	65%	59%	59%	35%	12%	35%	41%	35%	47%	35%	53%	29%	29%	29%	65%	59%	59%	53%	41%	41%	47%
千葉	50%	44%	31%	31%	6%	31%	25%	50%	63%	63%	81%	56%	31%	6%	63%	50%	75%	56%	44%	44%	63%
東京	71%	35%	53%	18%	6%	24%	29%	35%	47%	53%	71%	35%	29%	29%	59%	47%	41%	53%	35%	41%	47%
神奈川	59%	59%	53%	35%	24%	24%	24%	47%	53%	53%	76%	53%	47%	41%	76%	59%	76%	35%	47%	47%	65%
新潟	28%	20%	24%	20%	4%	8%	8%	16%	24%	24%	64%	20%	20%	12%	48%	44%	48%	16%	24%	36%	36%
富山	71%	38%	48%	19%	5%	19%	10%	38%	62%	57%	71%	19%	24%	43%	71%	57%	57%	24%	29%	43%	52%
石川	52%	48%	52%	39%	9%	22%	17%	61%	57%	43%	65%	35%	30%	26%	61%	43%	61%	43%	30%	43%	43%
福井	41%	41%	47%	24%	0%	24%	24%	47%	35%	41%	82%	41%	35%	29%	65%	47%	76%	35%	29%	59%	71%
山梨	55%	40%	65%	35%	10%	30%	35%	60%	55%	45%	70%	45%	35%	30%	70%	85%	70%	35%	30%	50%	40%
長野	56%	44%	44%	28%	0%	6%	11%	33%	44%	33%	61%	33%	50%	28%	61%	50%	61%	39%	39%	61%	39%
岐阜	76%	53%	59%	35%	12%	41%	35%	65%	59%	59%	88%	65%	59%	59%	71%	59%	65%	41%	35%	35%	65%
静岡	38%	25%	44%	13%	0%	19%	19%	25%	25%	31%	56%	31%	13%	19%	63%	56%	50%	19%	13%	50%	25%
愛知	56%	44%	50%	44%	25%	38%	31%	50%	75%	81%	81%	63%	56%	31%	81%	69%	81%	50%	44%	56%	63%
三重	46%	42%	38%	21%	17%	29%	38%	38%	42%	33%	46%	42%	25%	21%	42%	29%	50%	29%	21%	29%	46%
滋賀	39%	39%	48%	30%	17%	17%	22%	30%	43%	35%	52%	48%	17%	48%	61%	39%	74%	52%	35%	39%	48%
京都	46%	43%	57%	29%	18%	21%	14%	54%	50%	57%	64%	46%	39%	21%	43%	36%	50%	43%	29%	29%	54%
大阪	70%	70%	80%	10%	10%	10%	20%	70%	90%	90%	90%	50%	40%	20%	70%	70%	50%	20%	20%	70%	70%
兵庫	50%	50%	55%	30%	10%	25%	25%	45%	60%	50%	65%	55%	35%	20%	55%	45%	55%	50%	30%	30%	50%
奈良	50%	42%	58%	23%	19%	19%	23%	31%	54%	42%	69%	50%	38%	31%	46%	42%	38%	46%	31%	27%	50%
和歌山	63%	47%	63%	47%	21%	37%	37%	47%	53%	53%	58%	37%	53%	32%	58%	68%	63%	37%	42%	63%	42%
鳥取	46%	33%	54%	17%	4%	8%	8%	38%	58%	46%	71%	29%	38%	25%	46%	42%	46%	29%	21%	33%	42%
島根	40%	28%	48%	28%	8%	20%	28%	44%	24%	20%	52%	36%	36%	16%	40%	28%	36%	36%	12%	20%	28%
岡山	43%	38%	52%	24%	5%	24%	29%	24%	67%	48%	71%	48%	29%	29%	43%	48%	48%	29%	14%	43%	43%
広島	50%	45%	59%	23%	5%	14%	18%	45%	59%	55%	82%	50%	45%	23%	59%	64%	64%	45%	32%	41%	50%
山口	77%	69%	92%	38%	23%	62%	54%	46%	62%	62%	85%	54%	54%	46%	69%	54%	69%	46%	54%	31%	38%
徳島	30%	20%	20%	30%	10%	10%	10%	30%	40%	50%	80%	50%	20%	20%	70%	60%	40%	30%	30%	50%	50%
香川	53%	32%	53%	37%	11%	21%	21%	26%	47%	42%	63%	21%	26%	11%	47%	42%	53%	32%	37%	37%	47%
愛媛	47%	27%	47%	27%	13%	40%	27%	40%	40%	40%	67%	33%	27%	27%	60%	33%	47%	20%	27%	53%	40%
高知	69%	63%	63%	31%	6%	38%	44%	63%	69%	63%	81%	56%	38%	6%	88%	75%	88%	38%	50%	63%	69%
福岡	56%	50%	56%	38%	19%	31%	38%	44%	50%	44%	75%	50%	38%	25%	50%	38%	50%	31%	25%	25%	31%
佐賀	53%	33%	40%	20%	7%	20%	27%	47%	40%	27%	73%	47%	40%	7%	73%	47%	53%	47%	27%	47%	47%
長崎	67%	62%	57%	24%	14%	19%	19%	52%	48%	48%	62%	48%	38%	33%	57%	52%	52%	38%	29%	38%	33%
熊本	52%	24%	44%	44%	8%	16%	20%	48%	36%	28%	76%	40%	44%	40%	52%	52%	48%	40%	28%	44%	64%
大分	67%	46%	63%	29%	17%	25%	29%	46%	54%	46%	75%	54%	38%	29%	54%	50%	46%	42%	29%	29%	58%
宮崎	47%	32%	32%	21%	11%	21%	21%	47%	21%	21%	63%	37%	21%	26%	58%	47%	63%	47%	26%	26%	32%
鹿児島	41%	27%	50%	23%	0%	0%	5%	36%	32%	73%	50%	50%	18%	28%	68%	50%	50%	27%	32%	50%	55%
沖縄	28%	33%	28%	0%	0%	6%	6%	22%	17%	17%	39%	17%	11%	28%	28%	17%	22%	11%	6%	22%	17%
Total	51%	40%	49%	28%	10%	22%	23%	41%	47%	42%	66%	40%	35%	27%	57%	49%	55%	36%	29%	41%	47%

(表 15：病院の研修派遣意向：特定行為別・都道府県別)

有床診療所の研修派遣意向：特定行為別・都道府県別

	①呼吸「気道確保に係るもの」関連	②呼吸器「人工呼吸療法に係るもの」関連	③呼吸器「長期呼吸療法に係るもの」関連	④循環器関連	⑤心臓ドレーン管理関連	⑥胸腔ドレーン管理関連	⑦腹腔ドレーン管理関連	⑧ろう孔管理関連	⑨栄養に係るカテーテル管理	⑩栄養に係るカテーテル管理 <small>（末梢留置型中心 静脈注射用カテーテル管理）</small> 関連	⑪創傷管理関連	⑫創部ドレーン管理関連	⑬動脈血液ガス分析関連	⑭透析管理関連	⑮栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	⑯感染に係る薬剤投与関連	⑰血糖コントロールに係る薬剤投与関連	⑱術後疼痛管理関連	⑲循環動態に係る薬剤投与関連	⑳精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	㉑皮膚損傷に係る薬剤投与関連
Q8 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか。 [有床診療所] 赤字は50%以上																					
北海道	48%	28%	24%	34%	17%	21%	17%	24%	34%	34%	48%	38%	28%	28%	52%	41%	48%	34%	31%	31%	45%
青森	47%	29%	35%	29%	18%	18%	24%	18%	35%	35%	47%	24%	24%	18%	53%	53%	53%	41%	41%	35%	41%
岩手	22%	13%	17%	22%	9%	13%	9%	26%	26%	26%	52%	35%	22%	22%	39%	39%	43%	26%	22%	22%	35%
宮城	33%	33%	27%	27%	13%	13%	13%	13%	33%	33%	33%	13%	20%	27%	47%	47%	40%	27%	20%	27%	27%
秋田	12%	12%	18%	18%	12%	12%	12%	18%	24%	24%	35%	29%	24%	12%	24%	24%	12%	24%	12%	12%	18%
山形	26%	26%	16%	21%	11%	11%	11%	11%	26%	16%	26%	11%	21%	5%	26%	26%	26%	26%	21%	26%	26%
福島	43%	39%	35%	35%	22%	22%	26%	30%	30%	30%	57%	39%	22%	26%	48%	48%	35%	30%	30%	35%	30%
茨城	39%	30%	30%	26%	13%	17%	17%	30%	30%	35%	57%	39%	26%	26%	39%	48%	43%	39%	26%	35%	39%
栃木	45%	18%	18%	14%	0%	5%	9%	36%	41%	32%	50%	36%	32%	9%	32%	55%	50%	32%	32%	36%	32%
群馬	22%	17%	22%	17%	17%	17%	17%	39%	22%	11%	56%	39%	17%	17%	56%	56%	33%	33%	28%	22%	33%
埼玉	47%	33%	13%	27%	13%	13%	27%	13%	27%	27%	40%	27%	27%	40%	53%	47%	47%	53%	33%	13%	20%
千葉	50%	36%	29%	36%	14%	14%	14%	14%	36%	29%	57%	14%	14%	29%	50%	36%	50%	21%	21%	29%	21%
東京	50%	36%	29%	14%	21%	21%	29%	29%	36%	36%	43%	36%	0%	29%	57%	71%	43%	50%	36%	43%	50%
神奈川	36%	36%	43%	7%	7%	14%	21%	43%	36%	29%	36%	21%	21%	21%	50%	50%	36%	14%	14%	36%	43%
新潟	15%	10%	10%	10%	5%	10%	10%	15%	10%	15%	25%	15%	10%	15%	30%	25%	20%	10%	20%	15%	15%
富山	47%	41%	24%	29%	6%	12%	18%	24%	35%	35%	47%	24%	18%	18%	47%	53%	53%	47%	24%	29%	35%
石川	23%	14%	5%	14%	5%	5%	5%	14%	14%	9%	36%	14%	14%	9%	27%	27%	18%	14%	14%	18%	18%
福井	45%	36%	36%	18%	9%	18%	23%	32%	36%	36%	50%	41%	23%	14%	55%	55%	45%	36%	18%	23%	32%
山梨	40%	25%	30%	35%	15%	20%	20%	40%	40%	45%	70%	45%	20%	15%	55%	65%	50%	50%	30%	45%	50%
長野	33%	28%	33%	22%	11%	11%	11%	17%	17%	17%	33%	17%	11%	17%	33%	28%	28%	39%	22%	28%	22%
岐阜	32%	36%	36%	32%	9%	9%	9%	32%	36%	41%	55%	27%	23%	9%	64%	59%	41%	27%	41%	36%	41%
静岡	31%	19%	25%	13%	6%	6%	6%	25%	44%	38%	50%	31%	31%	25%	38%	44%	44%	38%	19%	31%	38%
愛知	43%	43%	36%	21%	29%	29%	29%	43%	36%	36%	43%	29%	36%	36%	50%	36%	50%	36%	36%	29%	36%
三重	23%	8%	8%	0%	0%	0%	0%	8%	8%	8%	15%	8%	15%	8%	8%	23%	15%	8%	8%	8%	8%
滋賀	47%	24%	18%	18%	6%	6%	0%	18%	6%	6%	35%	12%	29%	18%	41%	41%	24%	35%	12%	0%	29%
京都	50%	22%	22%	39%	6%	11%	17%	22%	22%	28%	50%	22%	17%	17%	39%	56%	44%	44%	28%	39%	28%
大阪	38%	25%	31%	13%	13%	13%	19%	19%	25%	31%	38%	38%	25%	6%	31%	38%	38%	38%	31%	19%	25%
兵庫	57%	36%	36%	43%	21%	36%	29%	29%	50%	50%	57%	29%	29%	29%	36%	50%	43%	36%	36%	36%	43%
奈良	14%	7%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	14%	14%	14%	7%	0%	0%	7%	21%	7%	14%	0%	7%	7%
和歌山	48%	32%	40%	36%	16%	20%	40%	40%	48%	44%	64%	52%	36%	20%	44%	44%	52%	48%	32%	36%	32%
鳥取	47%	33%	27%	20%	7%	13%	13%	20%	27%	20%	33%	27%	13%	20%	40%	53%	47%	40%	20%	20%	20%
島根	36%	14%	29%	21%	21%	21%	21%	21%	29%	29%	36%	29%	14%	21%	43%	36%	21%	14%	14%	14%	21%
岡山	30%	0%	10%	20%	0%	0%	10%	20%	20%	20%	40%	30%	10%	0%	30%	50%	40%	40%	10%	10%	30%
広島	35%	22%	22%	22%	4%	4%	9%	35%	35%	35%	43%	26%	17%	13%	39%	35%	43%	35%	30%	26%	35%
山口	39%	22%	28%	39%	22%	33%	28%	33%	50%	50%	50%	39%	22%	33%	56%	50%	56%	22%	39%	33%	28%
徳島	20%	10%	10%	0%	0%	10%	10%	30%	30%	30%	40%	30%	0%	0%	40%	40%	30%	30%	30%	10%	40%
香川	38%	19%	25%	19%	19%	19%	19%	38%	50%	31%	50%	44%	19%	19%	44%	50%	56%	44%	31%	25%	25%
愛媛	40%	35%	20%	30%	5%	15%	20%	30%	35%	25%	60%	25%	20%	5%	55%	50%	50%	25%	30%	30%	30%
高知	45%	25%	15%	40%	15%	15%	15%	25%	25%	35%	65%	35%	30%	10%	55%	55%	50%	60%	40%	35%	50%
福岡	23%	15%	8%	15%	8%	15%	15%	15%	15%	15%	38%	15%	8%	8%	38%	31%	31%	23%	38%	38%	38%
佐賀	37%	21%	21%	26%	5%	5%	5%	16%	16%	26%	47%	42%	16%	21%	37%	37%	32%	21%	11%	5%	16%
長崎	29%	12%	12%	12%	12%	12%	12%	18%	18%	18%	41%	41%	12%	6%	29%	29%	29%	29%	18%	12%	29%
熊本	22%	17%	17%	13%	0%	0%	4%	4%	22%	22%	30%	30%	13%	13%	22%	22%	30%	13%	13%	13%	17%
大分	37%	37%	37%	26%	16%	21%	26%	26%	42%	42%	58%	53%	32%	21%	47%	47%	42%	53%	21%	21%	47%
宮崎	48%	30%	22%	26%	4%	13%	13%	30%	39%	39%	57%	39%	39%	13%	57%	57%	61%	35%	35%	35%	30%
鹿児島	33%	27%	40%	27%	13%	20%	20%	33%	40%	47%	60%	47%	27%	33%	53%	47%	60%	33%	40%	40%	53%
沖縄	44%	38%	25%	31%	25%	25%	25%	38%	31%	31%	38%	38%	31%	13%	31%	31%	38%	38%	19%	25%	25%
Total	37%	26%	24%	24%	12%	14%	16%	25%	30%	30%	46%	31%	21%	18%	42%	43%	40%	33%	26%	26%	31%

(表 17：有床診療所の研修派遣意向：特定行為別・都道府県別)

介護施設(特養等)の研修派遣意向: 特定行為別・都道府県別

	①呼吸「気道確保に係るもの」関連	②呼吸器「人工呼吸療法に係るもの」関連	③呼吸器「長期呼吸療法に係るもの」関連	④循環器関連	⑤心臓ドレーン管理関連	⑥胸腔ドレーン管理関連	⑦腹腔ドレーン管理関連	⑧ろう孔管理関連	⑨栄養に係るカテーテル管理	⑩栄養に係るカテーテル管理「末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理」関連	⑪創傷管理関連	⑫創部ドレーン管理関連	⑬動脈血液ガス分析関連	⑭透析管理関連	⑮栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	⑯感染に係る薬剤投与関連	⑰血糖コントロールに係る薬剤投与関連	⑱術後疼痛管理関連	⑲循環動態に係る薬剤投与関連	⑳精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	㉑皮膚損傷に係る薬剤投与関連
Q8 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか。 [介護施設(特養等)] 赤字は50%以上																					
北海道	36%	18%	27%	18%	9%	9%	9%	55%	18%	9%	73%	45%	9%	18%	55%	64%	64%	18%	36%	64%	36%
青森	24%	10%	43%	33%	10%	10%	10%	43%	29%	29%	57%	33%	14%	10%	62%	62%	62%	10%	33%	52%	33%
岩手	29%	14%	38%	24%	5%	5%	5%	38%	33%	38%	71%	19%	14%	19%	71%	62%	57%	10%	29%	52%	29%
宮城	40%	20%	13%	27%	7%	7%	13%	40%	33%	33%	60%	20%	7%	13%	47%	60%	33%	13%	13%	53%	33%
秋田	13%	19%	25%	25%	0%	0%	0%	31%	19%	13%	44%	19%	6%	6%	31%	38%	25%	13%	31%	50%	31%
山形	44%	22%	22%	17%	11%	11%	11%	44%	28%	33%	44%	17%	11%	17%	44%	50%	33%	17%	22%	39%	33%
福島	10%	0%	20%	0%	0%	0%	0%	60%	10%	10%	90%	10%	0%	0%	60%	60%	50%	10%	10%	40%	0%
茨城	69%	38%	15%	62%	8%	8%	8%	46%	23%	31%	77%	15%	15%	23%	77%	85%	85%	15%	31%	92%	69%
栃木	36%	36%	36%	36%	0%	9%	9%	36%	18%	18%	64%	18%	18%	0%	55%	55%	55%	9%	9%	64%	55%
群馬	48%	19%	48%	24%	10%	10%	10%	57%	29%	33%	67%	33%	19%	19%	52%	67%	76%	24%	24%	67%	38%
埼玉	47%	12%	12%	29%	6%	6%	12%	35%	24%	29%	71%	12%	12%	6%	94%	88%	71%	24%	35%	76%	59%
千葉	18%	24%	18%	24%	12%	12%	12%	47%	41%	35%	76%	18%	12%	24%	71%	76%	59%	18%	12%	76%	53%
東京	30%	5%	20%	25%	0%	0%	0%	30%	15%	30%	85%	15%	5%	5%	70%	85%	90%	10%	20%	85%	40%
神奈川	36%	9%	9%	9%	0%	0%	0%	18%	18%	27%	73%	18%	0%	9%	64%	64%	55%	9%	9%	45%	55%
新潟	28%	6%	22%	11%	0%	6%	6%	39%	28%	22%	72%	28%	17%	0%	67%	67%	61%	6%	17%	56%	39%
富山	17%	8%	17%	8%	0%	0%	0%	33%	17%	17%	33%	8%	8%	0%	50%	33%	25%	8%	25%	42%	33%
石川	32%	18%	23%	23%	5%	5%	9%	45%	27%	27%	77%	14%	5%	14%	50%	59%	45%	14%	27%	55%	41%
福井	22%	11%	28%	17%	6%	6%	6%	28%	22%	17%	61%	11%	17%	6%	50%	50%	50%	6%	28%	44%	39%
山梨	46%	23%	31%	15%	8%	8%	8%	38%	31%	23%	62%	31%	23%	15%	62%	54%	69%	23%	15%	54%	54%
長野	17%	6%	17%	6%	0%	0%	0%	6%	22%	22%	39%	11%	6%	6%	22%	33%	22%	17%	22%	22%	28%
岐阜	33%	8%	25%	8%	0%	8%	0%	50%	17%	17%	67%	17%	17%	8%	75%	75%	67%	0%	17%	75%	25%
静岡	13%	6%	0%	6%	0%	0%	0%	25%	6%	6%	50%	0%	0%	0%	56%	50%	38%	0%	13%	44%	31%
愛知	33%	33%	22%	33%	11%	11%	11%	33%	22%	22%	56%	44%	11%	44%	56%	67%	56%	11%	22%	67%	33%
三重	29%	21%	29%	25%	4%	8%	8%	25%	21%	25%	50%	13%	8%	13%	50%	50%	54%	13%	17%	46%	42%
滋賀	52%	14%	33%	24%	5%	5%	5%	33%	33%	33%	67%	19%	5%	10%	67%	52%	57%	10%	33%	57%	52%
京都	6%	6%	24%	6%	6%	6%	6%	35%	12%	18%	41%	18%	18%	6%	41%	29%	35%	12%	12%	29%	12%
大阪	27%	27%	9%	18%	0%	0%	0%	36%	27%	27%	45%	0%	9%	9%	45%	64%	45%	9%	0%	64%	45%
兵庫	38%	14%	10%	14%	0%	0%	0%	38%	19%	24%	71%	24%	5%	14%	62%	71%	62%	10%	29%	76%	48%
奈良	42%	23%	31%	42%	15%	15%	15%	38%	31%	27%	62%	15%	15%	23%	62%	54%	54%	8%	38%	54%	46%
和歌山	27%	18%	27%	18%	0%	0%	0%	36%	18%	9%	64%	9%	9%	18%	64%	55%	36%	9%	18%	36%	36%
鳥取	33%	8%	21%	25%	4%	4%	4%	29%	17%	25%	54%	25%	8%	13%	58%	63%	46%	17%	25%	38%	42%
島根	18%	12%	24%	29%	0%	0%	0%	35%	12%	12%	47%	24%	29%	18%	47%	53%	41%	6%	18%	35%	35%
岡山	39%	17%	22%	17%	0%	0%	0%	39%	33%	28%	39%	11%	11%	11%	67%	44%	61%	11%	28%	44%	33%
広島	30%	10%	30%	20%	0%	0%	0%	40%	10%	10%	60%	0%	0%	0%	90%	80%	70%	10%	30%	60%	30%
山口	42%	16%	16%	16%	0%	0%	5%	26%	21%	21%	47%	21%	0%	5%	53%	53%	47%	32%	26%	47%	58%
徳島	0%	0%	0%	14%	0%	0%	0%	14%	14%	14%	29%	14%	0%	0%	29%	29%	14%	0%	14%	14%	29%
香川	50%	25%	31%	44%	6%	13%	13%	50%	56%	56%	63%	38%	19%	19%	63%	63%	63%	25%	31%	50%	44%
愛媛	25%	17%	8%	17%	0%	0%	0%	42%	8%	8%	33%	8%	17%	8%	50%	33%	33%	0%	8%	25%	8%
高知	25%	25%	19%	25%	0%	0%	0%	25%	25%	31%	63%	31%	6%	13%	56%	56%	50%	19%	25%	38%	31%
福岡	11%	11%	5%	5%	0%	0%	0%	21%	16%	16%	47%	11%	5%	0%	53%	37%	32%	11%	5%	32%	32%
佐賀	38%	15%	31%	31%	0%	0%	0%	38%	23%	23%	46%	23%	8%	31%	46%	62%	69%	15%	23%	62%	62%
長崎	44%	28%	33%	22%	6%	11%	6%	44%	28%	17%	67%	28%	11%	17%	72%	72%	61%	22%	39%	56%	33%
熊本	27%	5%	9%	23%	0%	0%	0%	23%	9%	14%	45%	14%	0%	0%	41%	41%	32%	0%	27%	41%	32%
大分	33%	22%	22%	22%	11%	11%	11%	78%	11%	22%	67%	11%	0%	0%	56%	56%	56%	11%	22%	44%	22%
宮崎	44%	33%	33%	33%	0%	11%	22%	44%	33%	44%	78%	33%	22%	22%	56%	67%	67%	11%	22%	44%	67%
鹿児島	67%	56%	67%	56%	11%	22%	22%	78%	78%	89%	100%	56%	22%	22%	67%	89%	89%	22%	44%	67%	67%
沖縄	38%	25%	38%	63%	13%	13%	13%	38%	25%	50%	63%	13%	13%	25%	75%	63%	63%	25%	38%	63%	63%
Total	32%	17%	24%	23%	5%	6%	6%	37%	24%	25%	59%	20%	11%	12%	57%	58%	53%	13%	24%	52%	39%

(表 19：介護施設の研修派遣意向：特定行為別・都道府県別)

訪問看護ステーションの研修派遣意向：特定行為別・都道府県別

	①呼吸「気道確保に係るもの」関連	②呼吸器「人工呼吸療法に係るもの」関連	③呼吸器「長期呼吸療法に係るもの」関連	④循環器関連	⑤心臓ドレーン管理関連	⑥胸腔ドレーン管理関連	⑦腹腔ドレーン管理関連	⑧ろう孔管理関連	⑨栄養に係るカテーテル管理	⑩栄養に係るカテーテル管理「末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理」関連	⑪創傷管理関連	⑫創部ドレーン管理関連	⑬動脈血液ガス分析関連	⑭透析管理関連	⑮栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	⑯感染に係る薬剤投与関連	⑰血糖コントロールに係る薬剤投与関連	⑱術後疼痛管理関連	⑲循環動態に係る薬剤投与関連	⑳精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	㉑皮膚損傷に係る薬剤投与関連
Q8 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか。 [訪問看護ステーション] 赤字は50%以上																					
北海道	46%	46%	63%	42%	21%	25%	29%	54%	58%	54%	79%	42%	17%	42%	83%	71%	58%	50%	38%	50%	63%
青森	36%	28%	32%	32%	12%	20%	20%	52%	56%	60%	64%	40%	20%	32%	60%	48%	56%	28%	36%	44%	44%
岩手	45%	55%	55%	40%	20%	25%	35%	65%	50%	55%	85%	55%	40%	30%	90%	70%	65%	40%	50%	60%	50%
宮城	59%	55%	55%	36%	18%	18%	27%	59%	55%	59%	73%	41%	32%	41%	64%	59%	59%	27%	45%	41%	50%
秋田	50%	50%	78%	50%	17%	28%	28%	67%	56%	50%	83%	44%	28%	28%	83%	61%	56%	17%	44%	61%	56%
山形	48%	29%	57%	24%	14%	24%	33%	57%	43%	43%	81%	38%	29%	33%	81%	81%	71%	48%	29%	43%	57%
福島	55%	55%	59%	27%	14%	18%	27%	55%	50%	36%	82%	45%	27%	27%	73%	45%	50%	32%	41%	55%	68%
茨城	57%	67%	71%	48%	29%	38%	43%	57%	57%	57%	81%	52%	48%	38%	76%	67%	76%	33%	43%	48%	57%
栃木	45%	59%	68%	36%	5%	9%	9%	64%	64%	68%	82%	36%	14%	9%	68%	55%	64%	23%	36%	45%	59%
群馬	38%	31%	46%	15%	8%	8%	8%	31%	31%	31%	62%	31%	0%	8%	69%	46%	54%	15%	8%	23%	31%
埼玉	65%	59%	71%	41%	12%	24%	41%	71%	71%	65%	71%	47%	18%	24%	88%	71%	76%	24%	35%	59%	59%
千葉	38%	38%	44%	19%	6%	13%	31%	63%	44%	44%	75%	44%	13%	25%	69%	69%	63%	25%	25%	56%	44%
東京	44%	44%	50%	33%	22%	22%	22%	50%	50%	44%	61%	44%	28%	28%	61%	56%	61%	28%	33%	33%	33%
神奈川	65%	55%	70%	50%	25%	30%	40%	65%	55%	55%	80%	60%	25%	30%	80%	80%	80%	50%	50%	65%	70%
新潟	36%	41%	64%	23%	9%	18%	18%	50%	32%	32%	73%	45%	27%	14%	68%	55%	36%	9%	23%	45%	41%
富山	38%	48%	67%	43%	10%	10%	19%	62%	52%	52%	71%	43%	14%	29%	76%	71%	71%	24%	29%	24%	67%
石川	45%	40%	55%	30%	10%	10%	10%	45%	45%	40%	85%	45%	20%	25%	75%	55%	65%	25%	35%	30%	50%
福井	48%	44%	67%	41%	7%	11%	15%	48%	44%	44%	70%	30%	26%	30%	70%	56%	63%	26%	37%	52%	56%
山梨	39%	33%	56%	44%	6%	11%	17%	50%	50%	44%	78%	22%	28%	22%	72%	56%	67%	22%	28%	50%	50%
長野	31%	23%	50%	15%	8%	12%	12%	38%	19%	12%	69%	42%	19%	15%	50%	54%	35%	19%	12%	27%	27%
岐阜	47%	53%	60%	33%	7%	20%	20%	53%	53%	60%	67%	47%	27%	13%	73%	53%	87%	47%	27%	40%	73%
静岡	55%	50%	60%	30%	20%	20%	20%	35%	35%	30%	60%	25%	25%	10%	70%	65%	65%	35%	30%	45%	45%
愛知	71%	53%	65%	35%	12%	12%	12%	47%	41%	35%	76%	47%	18%	35%	82%	59%	59%	29%	24%	41%	47%
三重	67%	53%	67%	53%	27%	27%	40%	67%	60%	53%	80%	67%	33%	40%	73%	60%	87%	40%	53%	73%	73%
滋賀	24%	40%	48%	12%	0%	0%	4%	16%	32%	40%	72%	16%	4%	4%	68%	56%	68%	12%	8%	44%	52%
京都	36%	23%	27%	23%	9%	23%	23%	41%	27%	32%	64%	32%	9%	23%	55%	50%	68%	27%	32%	73%	41%
大阪	37%	37%	42%	42%	21%	21%	32%	47%	53%	53%	84%	47%	21%	32%	68%	58%	53%	21%	26%	37%	42%
兵庫	60%	60%	60%	70%	30%	20%	30%	50%	60%	70%	90%	80%	40%	50%	80%	80%	70%	60%	50%	50%	70%
奈良	44%	40%	60%	20%	4%	8%	12%	52%	40%	44%	76%	36%	12%	12%	64%	60%	56%	4%	24%	40%	32%
和歌山	73%	55%	77%	41%	14%	18%	23%	55%	86%	77%	91%	50%	27%	23%	95%	82%	82%	36%	36%	55%	59%
鳥取	45%	55%	64%	45%	0%	9%	18%	64%	73%	64%	73%	36%	18%	36%	73%	64%	55%	9%	36%	36%	73%
島根	40%	50%	45%	35%	10%	15%	15%	60%	45%	45%	60%	40%	15%	15%	55%	60%	55%	20%	30%	45%	40%
岡山	47%	58%	68%	47%	21%	26%	26%	68%	47%	53%	79%	42%	32%	32%	79%	63%	63%	32%	21%	47%	42%
広島	57%	67%	71%	48%	29%	33%	38%	67%	67%	62%	76%	48%	38%	24%	86%	71%	67%	43%	43%	57%	48%
山口	42%	38%	54%	38%	17%	17%	25%	38%	54%	50%	71%	29%	29%	33%	63%	63%	67%	33%	29%	46%	50%
徳島	67%	53%	67%	33%	7%	7%	13%	73%	60%	60%	80%	60%	7%	13%	87%	73%	80%	40%	27%	47%	53%
香川	77%	73%	77%	55%	27%	32%	36%	59%	68%	59%	86%	64%	32%	41%	82%	73%	77%	45%	50%	45%	55%
愛媛	60%	60%	65%	45%	20%	25%	40%	60%	65%	55%	85%	55%	25%	40%	80%	70%	90%	55%	50%	40%	60%
高知	48%	48%	52%	33%	5%	19%	24%	43%	38%	43%	57%	29%	19%	24%	57%	62%	57%	24%	33%	29%	33%
福岡	38%	38%	50%	38%	19%	19%	31%	63%	63%	69%	75%	50%	19%	19%	50%	56%	69%	25%	38%	44%	44%
佐賀	53%	63%	63%	42%	26%	37%	37%	74%	58%	58%	79%	68%	26%	26%	74%	68%	58%	47%	53%	53%	68%
長崎	42%	37%	53%	32%	16%	32%	37%	47%	37%	37%	74%	42%	32%	37%	68%	26%	47%	32%	26%	42%	47%
熊本	57%	48%	71%	48%	19%	24%	38%	62%	71%	52%	86%	62%	29%	38%	71%	62%	76%	33%	29%	48%	62%
大分	78%	78%	83%	56%	17%	28%	28%	61%	61%	61%	83%	56%	22%	22%	72%	67%	72%	28%	44%	44%	61%
宮崎	81%	74%	78%	59%	26%	30%	37%	56%	59%	56%	89%	48%	30%	41%	78%	70%	74%	37%	48%	59%	44%
鹿児島	52%	52%	62%	57%	24%	38%	38%	57%	57%	57%	81%	57%	52%	38%	76%	76%	67%	38%	48%	52%	52%
沖縄	63%	50%	63%	25%	13%	13%	19%	63%	31%	38%	81%	44%	19%	19%	69%	56%	75%	31%	25%	63%	50%
Total	50%	49%	60%	38%	15%	20%	26%	54%	51%	50%	76%	44%	24%	27%	72%	62%	65%	31%	34%	47%	51%

(表 21：訪問看護ステーションの研修派遣意向：特定行為別・都道府県別)

自由記述：ある日の回答から

- 約※ 387機関から回答を得たが、そのうち約※196機関において、自由記述欄での記述を確認することが出来た。
（※一部、位置づけの難しい回答等があり、確定値ではない）
- 回答の傾向は以下の通り。

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
総回答数	103	76	80	111	17	387
記述数	48	26	45	70	7	196
回答率	46.6%	34.2%	56.3%	63.1%	41.2%	50.6%

（表 23：自由記述：ある日の回答から）

ナンバリング	機関属性	内容 @@@は政行を示す	費用	アクセス	医師の理解不足	自施設の業務との兼ね合い	スタッフの理解不足	病院執行部の理解	人員不足	情報不足	職員の意識	制度に対する実効性への疑問	振るるカリキュラム	研修の実効性	キャリアメイク	登録システム	カリキュラムの不備	安全な環境の確保	責任の所在	看護師の行うべき業務との兼ね合い	行政との連携困難	一般社会への周知	合計
001	病院	に係る経費へ公的補助金@@@・教育機関が遠い@@@・医師の理解不足		1	1	1																	
002	病院	当院は現在手術を行っていないので、ドレーン管理も少なくなつた。外科系の病院であれば、とても素晴らしい研修制度であると思います。					1																
003	病院	・研修機関に限られており少ない。増加を@@@・診療報酬上の評価を定める。		1	1																		
004	病院	・研修期間が長期のため代替職員確保が困難である。@@@・ライオン中心の職員が多く、研修のために家を空けられない。(子育て、介護のため)							1		1												
005	病院	医局の理解不足				1																	
006	病院	医師不足の一助としていところ→①医師の充足、とに総合診療ができる医師の養成@@@在宅の場面においては看護師が大きな役割を担っているため、必要とされる場面があると思える。行為の実践を限定するなど。											1										
007	病院	・研修施設が少ない@@@・大枠の看護師が少ない@@@・2025、超高齢化に間に合うか@@@・研修によって高度かつ専門的な知識と技能を身につけた看護師が育つても在宅ケアを支えられるのか			1					1			1										
008	病院	①行為別の各項目に対する医師の協力、病院としてどのようにするかを明確にしない@@@看護師のみでは育成後の実施につながらない@@@在宅部門や地域でどう活動していくかは、医師会などへの説明を含む方向性が提示されなければならないと感じている				1							1										
009	病院	研修時間が多過ぎると思います。@@@すでに看護師免許を有しているのに、3.15時間にも及ぶ共通科目研修の必要性とは何でしょう。											1										
010	病院	・研修制度が看護師全体に周知できていないので当然ではあるが、医師にこの制度が周知できていない。院長などに周知していく。				1		1															
011	病院	・スタッフレベルでの認知度が低い。自分たちの身近な存在として認識できていない@@@・研修の場が遠く、参加する動機が落ちる@@@あるは金銭的制約?等々		1	1			1															
012	病院	研修制度に関して、4か月の研修でこれまで習得できるのか?資格を取得した後の処遇をどうするのかが問題になると思います。												1	1								
013	病院	共通科目の履修が困難。また当該診療科目以外の区分な為あまり必要性を感じていない。個人的スキルとして見るのであれば有効であり、役立つとは考える。					1																
014	病院	特定行為…の研修先がない。日盲は認定Ns優先の為、認定NsでないNsは現実的にむずかしいと思われ。			1											1							
015	病院	共通科目の修得状況が各教育機関にまかされており、知識、技術としての妥当性があるのか不明確。@@@基礎教育では中卒学歴の准者を残しながら、特定行為ができるナースを育てようとする矛盾。												1			1						
016	病院	処遇及び所属。													1								
017	病院	医師の理解																					
018	病院	自発的に研修に行き看護師が今の所いない				1																	
019	病院	当院は地域の旧世紀を担っており、専門、認定看護師も複数所属している。@@@しかし、活動状況や日頃の業務の様子を見ると専門としていくスキルはあっても周囲との調整力、組織横断的な活動力の不足、自ら切り開いていくという意識の低さを感じる。この様な中、特定行為に対する社会全体での受け入れ環境、保証が整わない状況では、その役割を果たすことは難しいと考えます。																					
020	病院	研修機関が県内に存在しない(通信教育で学び実習は指定に行くという方法)			1																		
021	病院	この研修制度についてはとても興味があり、厚労省が行った説明会にも参加した。@@@今現在、指定研修機関となっている施設の管理者からの話も聞くことができた。しかし、受講要綱としてその分野の経験年数が3年以上必要であったり、実際特定行為研修を終了しても運用する上でのその分野に熟練した医師が側にいて、すぐに相談できる体制が構築できていないと、運用は難しいと感じた。@@@また、この制度について医師側の理解もどこまでなのかが疑問である。@@@問題が発生した場合の責任の所在も曖昧ではないか。指定研修機関の方の話の中で、「私は養護生に賠償保険に3つは入るよう勧められています」と言われた。@@@これらから、在宅医療が柱になっていくことは理解しているが、看護には看護の大切な仕事がある山ほどある。@@@今の状況で、私は私の大切なスタッフをこの研修に参加させたいとは思わない。				1												1	1	1			
022	病院	看護職の中にも反対派が多いこと。@@@私自身、看護をともに提供できていない状況の中で、何故看護師が診療行為にまで手を出すのか?と疑問に感じている部分も多い。																				1	
023	病院	人材不足の中、研修に派遣する余裕がない							1														
024	病院	・町立病院のため、行政に理解を得るのに困難が生じる。また必要性をわかしてもらえない。																				1	1
025	病院	・研修機関が悪い。・仕事を休まなくてはならない。@@@金銭的負担が大きい。・訪問看護の分野がもっと興味をもて欲しい。@@@各病院で研修できるように仕組みを改善する。→臨床研修病院であれば、看護師を育成できるなど、もう少し進捗のハードルを下げなければ、10万人養成するというのは不可能だと思います。		1	1					1													
026	病院	医師の指示に基づき、看護師が行える特定行為は、訪問看護で役に立つと考えています。																					
027	病院	在宅訪問などDが常動でないとこれは不要ですが																	1				

(表 24 : 病院からの回答より (1/2))

ナンバリング	機関属性	内容 @@@は 改行を示す	費用	アクセス	医師の理解不足	自施設の業務との兼ね合い	スタッフの理解不足	病院執行部の理解	人員不足	情報の不足	職員意識	制度に対する実効性への疑問	戻すカリキュラム	研修の効ektivity	キャリアアップ	登録システム	カリキュラムの不備	安全な環境の確保	責任の所在	看護師の行うべき業務との兼ね合い	行政との連携困難	一般社会への周知	合計		
028	病院	看護師が活躍する場が拡大される事は良い事だと考えている。@@@当院にはDrが多く医師への指導、理解協力してはできない。@@@又、やるには責任が伴う。生命に大きく関わる直接的な技術はやはり届かなくなる。@@@まだまだこれからの分野である。当院に訓練し、地域に出向する立場と考える。			1							1							1						
029	病院	院内で直接職員から学ぶと経費、時間等の手間が省けます。インターネット通信での学習もできるというですね！@@@・ミニDrができれば心配があります@@@→Drに利用されないか…。																		1					
030	病院	研修期間が遠方で、意欲があっても、家庭をもつ者にとって、研修を受けにくい状況にある。(特に中国地方にない)		1																					
031	病院	医師の理解と協力			1																				
032	病院	職員不足により研修に行く時間がとれない。@@@・対象となる人材の選択が難しい。							1																
033	病院	特定行為研修を準備させる程、看護要員数が十分でない。								1															
034	病院	特定看護師取得の条件に合わない														1									
035	病院	38項目の特定行為のなかで人工呼吸器からの離脱、気管カニューレの交換、一時ペースメーカーの操作及び管理、胃ろうカテーテルや胃ろうポータの交換など医師でもできない場合が多いと思われる内容が含まれており疑問を感じ。安全性の担保は何もなくこれまでの判例でも最終実施者がより重い責任をせられており看護師の実施責任が問われることは間違いない。看護要員の確保が困難でこれ以上医療行為しからずリスクを背負っての行為は賛成しがたい。どれだけ患者さんの為になるのだろうか。深刻な人員不足である看護師への業務委譲は看護師感を減らす対応ではないかと考える。人員確保を整備する必要があります。							1									1							
036	病院	どこまで責任がとれるのか																	1						
037	病院	人材不足で人材育成ができにくい状況がある@@@・Drとの関係性			1				1																
038	病院	医師の理解と協力が得られていない。@@@急性期の医療施設では今の段階ではあまり必要性を感じていない。訪問看護を急性期病院からできる体制がもっと充実してれば、特定行為の出来るNsの必要性も増し、普及するのではないのでしょうか。			1	1																			
039	病院	研修を受けても実行する行為は、能力の差が出ると思います。専門であればいいけど、現在の仕事プラスの場合が多いので個人負担が障害になっていくと思います。												1											
040	病院	人員不足や研修制度に関しての関心や知らされていないのが現状。@@@又、関心はあるも、研修を受ける余裕がない。@@@研修する指定研修機関が近くには増えてくと思います。		1					1	1															
041	病院	現在看護業務負担軽減がなかなか進まず、他部署の業務(薬剤、栄養、用度、医事など)までも看護師が行っている状況で、医師の業務まですることになれば、本来の業務の看護が行えない。特定行為は医師との協力や信頼があってこそ成立するものと思うので、協力や信頼が得られない状況での特定行為は考えられない。看護師は考えてアセスメントしたことを報告しても指示が出さない、暴言をくちくち、看護師を下に考えている医師が1人でも院内にいれば、特定行為をやって、何か事故があれば全責任を看護師に負わせるのではないのでしょうか不安は切り替えたい。特定行為ができるようになれば患者さんに苦痛などを軽減できるものは必要だと思うが、医師の仕事量軽減の目的だけのものならば、不安しかな			1													1							
042	病院	院内でその必要性を感じるものが少なく、又その人個人の責任、負担が大きすぎる。@@@又院内では医師との役割分担が不明確で不安もあるのではないか。@@@しかし今後を見ても、院内で経験を積んだ看護師が在宅でできるようにするならば意味があると思う。																	1						
043	病院	看護師の特定行為研修は急性期の病院はもちろんですが医師が不足している。@@@小規模な病院でも必要性があるのではと感じます。しかし、研修費や施設の問題などで実現できないのが残念です。しかし、特定行為が看護師でできることによりスムーズな患者援助ができるので、積極的に活動すべきだと思います。		1		1																			
044	病院	現場の看護師不足@@@・受講費用と受講期間							1				1												
045	病院	当院では、今現在必要とする患者があまりいないため、受講する予定がありません。今後、在宅等に対象患者がある時、受講の検討を考えるとします。				1																			
046	病院	患者情報をどこまで正確にとらえて医師とコミュニケーションをとり患者にとって好ましい方針を打ち出すのか。Nsにとっての熟慮をどこまでと考えるのか。手帳書はあるがかなり厳しいと考える。直接患者の死にかかわる行為に関しては特定行為にすべきではないと思いますが長期人工呼吸療法中の場合はDrよりもNsの方がかわつていて時間は長く必要性を感じることもある。@@@・とDrとの関係(理解を得ること)でしょう。																	1						
047	病院	現状で研修の必要性がない。				1																			
048	病院	医師との役割分担と責任の所在@@@当院は急性期病院で研修医を育成している病院です。現在、訪問部門はありません。今後特定看護師を育成できたとしたら共に働ける医師や看護師との信頼関係を築くことが大切だと思います。																	1	1					
					5	9	11	6	2	0	10	1	3	4	2	2	3	2	1	4	6	4	1	1	77
					6%	12%	14%	8%	3%	0%	13%	1%	4%	5%	3%	3%	4%	3%	1%	5%	8%	5%	1%	1%	100%

(表 25：病院からの回答より (2/2))

ナンバリング	機関属性	内容 @@@は改行を示す	費用	アクセス	医師の理解不足	自施設の業務との兼ね合い	スタッフの理解不足	病院執行部の理解	人員不足	情報の不足	職員の意識	制度に対する実効性への疑問	長すぎるカリキュラム	研修の実効性	キャリアアップ	登録システム	カリキュラムの不備	安全な環境の確保	責任の所在	看護師の行うべき業務との兼ね合い	行政との連携困難	一般社会への周知	合計
049	有床診療	スタッフ数が少なく研修に参加しにくい。@@@研修費用が高額障害の一因。	1						1														
050	有床診療	高齢のためこれ以上の進歩を望まないため。									1												
051	有床診療	医師がこれまでできていたかまた医師の信頼関係が保てるか。→医師も含めた研修の企画@@@開業医のための、人数的にもずかしい。			1				1														
052	有床診療	人材不足！							1														
053	有床診療	人材不足。							1														
054	有床診療	産科クリニックには必要とされる項目がないので研修の必要性を感じない				1																	
055	有床診療	当施設は診療所であり業務に細かいため。@@@看護師の能力向上に施設としても努力すべきとは思いますが、研修派遣はコスト的に極めて厳しい。その上大半の診療所においては、研修で得たスキルが有効に用いられるかは疑問と云わざるを得ません。	1			1																	
056	有床診療	研修制度の期間がある程度必要となるので難しい。@@@責任問題（看護師が行った行為によりトラブルがあった場合）@@@特定行為のものが（中身）少し中途半端。@@@看護師としてやる内容										1	1						1				
057	有床診療	今回の調査で、特定行為に関する看護師の研修制度を知りました。@@@研修を希望する方は多いと思われる。広報活動を積極的にしていくことが必要であると考えます。								1													
058	有床診療	研修に出すためには人材確保が必要。現在は、看護師数が少ないので出せない。経営（人件費）状況にもよる。クリニックの方針による。	1						1														
059	有床診療	・1人休んでも日常業務がまわらないので研修に出ない@@@人材がいるのか…学力、技術力、向上心、現状より良くなることを望まない@@@一項目だけ代わってもらえるだけでDrの負担は減る。現実にはDrよりの管理の方がまいき代わって行っている場合も多数あり@@@そもそも、何のために、誰を楽にするために、利益を得られるために作ったか書いてない。@@@資格にしたら？給料上がる。							1						1								
060	有床診療	診療業務にあまり関係しないので受講も思わないし研修派遣予定もないです				1																	
061	有床診療	当院では科の特性から、必要とする項目が少ないが、管理上、Nsに責任のしかかると考えるとストレスは大きくなる。@@@ミスをした時のまた犯す前の対応を確立する必要がある。					1												1				
062	有床診療	看護師不足のため研修へ行けず、@@@研修費用が高い	1						1														
063	有床診療	人員不足。							1														
064	有床診療	労働時間が長く、不規則なため、なかなか勉強の時間がとれない。											1										
065	有床診療	現状のまま問題を抱えているとは思わない。@@@新たな制度で問題が起きた時、だれが責任を負うのか？										1							1				
066	有床診療	小規模診療所では必要性を感じない。				1																	
067	有床診療	産科診療所において必要性はないが、在宅医療においては役に立つのではないかと考えられます。一番難しいのは医師との関係性だと思います。			1	1																	
068	有床診療	・人員不足により研修を受けたり、協力施設になる余裕がない							1														
069	有床診療	慢性的な人手不足							1														
070	有床診療	・医師としては手順書作成の手間（クリティカルパスのような扱いになるかもしれませんが）@@@研修機関に代わりの看護師の手配、ソフト調整@@@本制度取得者の給与面や診療報酬請求関連の問題等	1						1						1								
071	有床診療	地方の一有床診療所です。（日帰り手術のみの病床使用）全員准看護師ですので、今はそれで充分と考えています。					1																
072	有床診療	復讐診療所ですが、38特定行為に該当する診療行為があまりございません。@@@生じた時には、ドクターによる対応で対応したいと考えております。					1																
073	有床診療	当分の間は看護師を雇う可能性はないので、研修の必要性を感じないし、当院では、設備の拡張をすることはほとんどないので良しはしようがない。@@@おそろく現場がしすぎて、研修させる必要がないのではないだろうか。					1																
074	有床診療	看護要員の不足で研修に参加させてあげられない。							1														
			回答数	5	0	2	9	0	0	12	1	1	2	2	0	2	0	0	3	0	0	0	39
			全回答件数に占める割合	13%	0%	5%	23%	0%	0%	31%	3%	3%	5%	5%	0%	5%	0%	0%	8%	0%	0%	0%	100%

(表 26 : 有床診療所からの回答より)

ナンバリング	機関属性	内容 @@@は改行を示す	費用	アクセス	医師の理解不足	自施設の業務との兼ね合い	スタッフの理解不足	病院執行部の理解	人員不足	情報の不足	職員の意識	制度に対する実効性への疑問	長すぎるカリキュラム	研修の実効性	キャリアアップ	登録システム	カリキュラムの不備	安全環境の確保	責任の所在	看護師の行うべき業務との兼ね合い	行政との連携困難	一般社会への周知	合計
075	介護施設	講習予備@@@・近隣県内で研修が受けられるか@@@・特定行為をとする者の看護師の条件（例：准普でのキャリアは長いが正普での年数が短いと認定看護師同様、受講機会に恵まれない）		1	1													1					
076	介護施設	・研修機関が身近にはない為、又募集人員も少ない			1				1														
077	介護施設	老健施設で働く看護師が不足しており、十分な研修時間を与える余裕がない現状と医療を必要とする利用者を対象としていないため、年齢の高い看護師や准看護師が多い。しかし知識としては知っておく必要があると思います。				1			1		1												
078	介護施設	病院に於ては、看護師業務の拡大という点では、いい事と思うが…在宅復帰前の老人介護施設では普及することは困難と思う。@@@理由・スタッフの構成メンバー（医師100人に対し1人、ナース10人に対し1人、etc.）@@@医療機器がほとんどない、臨時処置への対応困難等々				1			1														
079	介護施設	老健における看護師の役割は、介護業務（介護の人数が足りておらず）もあり、実際、研修に出せる余裕もない状態です。							1														
080	介護施設	・老健施設ですが、併設に病院が24時間医師がいます。@@@呼吸器管理の対象の方は、施設でなく病院管理です。@@@病院等勤務している看護師は、特定行為の研修を受けた方が良いと思います。仕事がスムーズに行くといいと思います。					1																
081	介護施設	医師と看護師との連携がうまく保たれているなら不要なのかも。										1											
082	介護施設	研修期間の長さ、@@@外部に出すだけの人的余裕がない@@@職場での医師の指導の下で資格を取っていく形になると良い											1										
083	介護施設	特定行為研修についての情報・知識が足りませんでした@@@現在勤務中の職場に生かせる内容については受講希望があると思います@@@ですが時間が多く必要とする事、ある程度長く動いてくれる人に受講してほしいと思います								1			1										
084	介護施設	医療行為に対する認識の違い、根本的に納得出来ない事。@@@看護師が行うケアの領域ではないという認識である事。																			1		
085	介護施設	e-ラーニングでの受講ができるのですが、時間数が多すぎますね。@@@何年かかると感じました。@@@もよりの研修きかんも近く@@@なかなか現実的には@@@とりにくい研修ですね		1									1										
086	介護施設	・研修期間が長く、勤務調整に苦慮する。取得後も定期的な活動や研修会へ参加しなくてはならず、勤務との両立が難しくなる状況である。知識を得る為には、それなりの研修機関を要するが、できるだけ短時間で効率よく取得できるようカリキュラムを調整してほしい@@@医師と特定行為に係る看護師の特定の領域にたがらして、看護師にしか寄せが行き看護師本来の役割である療養上の世話から離れているように感じている。@@@専門的知識や技術を無難であるが、コミュニケーション能力やスキルを高めることを忘れない前提で研修制度を継続して欲しい。							1				1									1	
087	介護施設	何かあったときに看護師の責任が問われるのではないかと思うと大変に研修を受けてもよいものか考えさせられます。																			1		
088	介護施設	H30年3/31で閉鎖予定の為、受講予定なし																					
089	介護施設	当院には認定看護師もいない、看護師の能力に問題があると思う。まず認定看護師の育成が急務と考えている。しかし療養型の病院でありながらも少なく、看護師の力がもっと発揮できると患者さんにとっての療養ももっと改善すると思う。そのためこの研修を受けるNSを育てることは必要だと思う。民間病院のNSの質のアップが必要と思っています。@@@質問に対する回答からすればいいと思います。																					
090	介護施設	ほとんど特定行為を行っていないので必要性を感じない@@@人員不足で研修に出す余裕がない@@@老健なのでこの様な行為は医師が行うべきであり、行わないなら受け入れるべきでないと考えます。					1																
091	介護施設	今後、看護学校でおしえてほしい。																					
092	介護施設	当施設が医療機関でなく老健であることから、NSが対応できる範囲が広がるのは、非常によいことだと思います。@@@問題としては①当施設の医師が手順書（指示を出せるが、②も、施設外の専門医が手順書を出したら、本人、ご家族への説明はどうするのか③NSの責任の重さ、などがあると思います。@@@多くは能力の問題になってくるので対策は…。																			1		
093	介護施設	他施設に勤務する看護師の不足により、研修に出す人員確保が出来ない@@@看護職の処遇改善による人材の確保に努める							1														
094	介護施設	看護大学卒業後に継続した一か教育制度の確立をしてほしい。知識、技術がもたないまま、免許がとれ、現場で取得スキル向上につながると思う。																1					
095	介護施設	看護師の確保（人材不足）が現状問題としております。また看護師自身の意欲の問題があります。当施設では准看護師が大半で制度への理解が難しいと思われる。改善策として考えられることは、処遇改善が必要かと思いますが、資金を上げたからといって現有スキルがアップするとは考えられませんが、看護師になる時点で能力アップ（人材育成）が必要ではないでしょうか。							1		1			1									
096	介護施設	指示を出す医師の選択不足又は、医療機関の数など選択肢が少なく地域でのかたよりがある。@@@メンバー不足・人材不足@@@事故、ストスのマネジメント@@@給料（出来ることが多くなるということ）は仕事が進むという事、仕事には責任の他に責任がある。これは責任の面が大きい気がします。そうであれば給料を上げてやりたいのだが、現状の介護保険ではとても間にあわない、加算等で対応していただければ良いと思います							1						1					1			

(表 27：介護施設からの回答より (1/2))

ナンバリング	機関属性	内容 @@@は 改行を示す		費用	アクセス	医師の理解不足	自施設の業務との兼ね合い	スタッフの理解不足	病院執行部の理解	人員不足	情報の不足	職員の意識	制度に対する実効性への疑問	長すぎるカリキュラム	研修の実効性	キャリアアップ	登録システム	カリキュラムの不備	安全な環境の確保	責任の所在	看護師の行うべき業務との兼ね合い	行政との連携困難	一般社会への周知	合計
097	介護施設	看護師の特定行為研修について、関心はあるが、施設は特養のため@@@医療行為がないのが前提である。@@@そのため特定行為研修を受講させるにはいたらない。	自施設の業務との兼ね合い				1																	
098	介護施設	医療保険と介護保険制度の違い。@@@本来あるべき姿での制度設計が必要（利用者本位とサービス提供制からの）	制度に対する実効性への疑問										1											
099	介護施設	研修期間が長い。	長すぎるカリキュラム											1										
100	介護施設	研修時間が多いので、通常の業務に支障が出てしまうのでは。	長すぎるカリキュラム											1										
101	介護施設	特養での看護師不足は慢性的です。病院より特養の方が強とが案になると思い込み入社している人も多くいるのが現状です。@@@多くの時間を研修に使えないし、研修しても退職してしまう人もいるので、特養では普及が難しいのではと思います。	人員不足							1														
102	介護施設	看護士の数と質の確保が困難。研修に行かせても機能しないと思う。	人員不足							1														
103	介護施設	今以上に医療機関が負っていたような医療行為を介護施設が担うのは無理があると思います。	自施設の業務との兼ね合い				1																	
104	介護施設	研修費用と時間の確保が障害となっている。@@@それ以前に認定看護師取得もあるため、さらに障害が助長され、資格を取りたいと思っても、現実的に達成することは難しいと感じます。	費用、長すぎるカリキュラム	1										1										
105	介護施設	研修に要する時間が長く（e-ラーニングが可能だとしても）負担がかかる。@@@受講資格が限定されるため、対象者がほとんどいない。	長すぎるカリキュラム											1										
106	介護施設	そもそも看護師不足である。	人員不足							1														
107	介護施設	特養の場合看護師の人数が少ない。看護師に負担がかかる。介護福祉士の方々の教育も大変と感じる。@@@協働作業で入居者を守っている為、特養は「生活の場」である事も大きいと感じる	人員不足							1														
108	介護施設	特別養護老人ホームにおいて「特定行為」を必要とする利用者が少ないため（入所困難な条件）現状不要です。@@@看護師の人員も少なく正看護師も少ないです。@@@配置医も非専勤にて難しい状況です。	自施設の業務との兼ね合い				1																	
109	介護施設	看護師不足により研修に参加する体制ができません	人員不足							1														
110	介護施設	職場（特養）に対象者がいない少ない。@@@医師が専任していないので不要。	自施設の業務との兼ね合い				1																	
111	介護施設	看護師不足、日々の業務におわれてしまい時間が足りません@@@個人的な考えや希望は別として施設の理解が得られない。	人員不足、自施設の業務との兼ね合い				1			1														
112	介護施設	手帳書作成に対する医師の理解がどれくらいあるかが不明@@@特養の配置医が理解されていれば導入は可能だと思います。	医師の理解不足			1																		
113	介護施設	常勤正看護師不在から3年たちます。募集をかけていますが来ません。@@@現在パートNs、派遣Nsでギリギリ現場を回している現状。@@@まずは、常勤正看護師を採用できてからの話だと思います。	人員不足							1														
114	介護施設	看護スタッフが少なく、研修に派遣しにくい。@@@研修費の都合上、職種や人数に限度がある。@@@嘱託医等との関係性は少し気になる（指示書が都度出されるかなど）	人員不足							1														
115	介護施設	当施設は協力病院がすぐあり、特定行為は協力病院にお譲りする今の所当該施設の看護師の研修は考えていない	自施設の業務との兼ね合い				1																	
116	介護施設	研修時間の量、看護師の確保	人員不足、長すぎるカリキュラム							1				1										
117	介護施設	特養は看護師が少なく、研修受講の時間が取れない。@@@→看護師の配置基準の見直しと人材確保	人員不足							1														
118	介護施設	介護老人福祉施設では勤務時間を削いで研修を受けて特定行為が行えるようになって、実際行なうケースが少ないと思うので、メリットを感じない。@@@看護師も働く事業所によって意識が違うと思う。	自施設の業務との兼ね合い				1																	
119	介護施設	医師の作成する手帳書の具体性@@@研修施設が近隣であること	制度に対する実効性への疑問、アクセス			1							1											
			回答数	2	4	1	11	0	0	18	1	2	3	9	0	2	0	2	0	3	2	0	0	80
			全回答件数に占める割合	3%	7%	2%	18%	0%	0%	30%	2%	3%	5%	15%	0%	3%	0%	3%	0%	5%	3%	0%	0%	100%

(表 28：介護施設からの回答より (2/2))

ナンバリング	機関属性	内容	費用	アクセス	医師の理解不足	自施設の業務との兼ね合い	スタッフの理解不足	病院執行部の理解	人員不足	情報の不足	職員の意識	制度に対する実効性への疑問	長ずるカリキュラム	研究の実効性	キャリアメイク	登録システム	カリキュラムの不備	安全な環境の確保	責任の所在	看護師の行うべき業務との兼ね合い	行政との連携困難	一般社会への周知	合計
120	訪問看護	小規模では、長期研修への参加が難しく、@@@→経済的に人員増は困難なため現時点では対策がない@@@→まずは認定看護師取得のための環境を整えたい。							人員不足														
121	訪問看護	研修を受講する金額が高い@@@・半年の研修でできる行為？現時点で行っている行為もあり、半年の研修を受講するメリットがつかめない。@@@・人員、ステーションは特にスタッフ数が少ない。(夜間に通える大学病院等が、1~2年かけてあるは修士以上等必要と思)		1					費用、長ずるカリキュラム、人員不足				1										
122	訪問看護	人員不足のため、余裕なし							人員不足														
123	訪問看護	現場の経営者が必要としていないため@@@受けたいと思ってもできない						1	病院執行部の理解														
124	訪問看護	研修に参加するには、人手が足りない。@@@・パート職員が多く、出来高払いとなる為、研修日の確保がない。							人員不足														
125	訪問看護	特定行為を誰が行うかの判断はDrであり、その判断につきまとう責任にプレッシャーがあるのではないかと、制度としてNsにやらせるのであれば判断もNs数量、Ns責任にした方がいいと感じる。@@@・Nsの兼としてできるものが増え化しており、それぞれの特徴を評価した採用が難しい。専門Ns、認定Ns、特定Ns、Ns、準備でなくもスマートで看護本来の質が高められる制度にしてほしい。							責任の所在、看護師の行うべき業務との兼ね合い										1	1			
126	訪問看護	地方ではDrも不足しているがNsも足りず、1人研修で扱ってしまっても至らないが実情です。実務5年以上とありますが看護学生が卒業後進学と言う形でNpまでたどり着ける形であれば良いのではないのでしょうか？又、地方の在宅では看取りが難しく、老衰などNsでもよい看取りができるのであればいつでも研修に参加したい気持ちです。							人員不足														
127	訪問看護	訪問看護をする上で必要なことであると思ひます。@@@緊急時や急変時@@@ただ研修に行ける期間、人数がおりません…。							人員不足														
128	訪問看護	時間、日程がわからないため回答できない							情報の不足														
129	訪問看護	人材不足、研修に出せる程の余力ありません。@@@人材の確保をして保証できる継続の確保が必要です。		1					人員不足、費用														
130	訪問看護	スタッフ4~5人の小規模ステーションの為、平日の受講は難しい。@@@訪問看護師の数を増やして、@@@土・日の研修にする。@@@ちなみに日本訪問看護財団は土・日研修なので、それぞれ対応している。							人員不足、カリキュラムの不備								1						
131	訪問看護	情報不足@@@研修日程、申し込み、費用等資料としてほしいWebではなく							情報の不足														
132	訪問看護	共通科目は放送大学等通信教育で受けられるが、区別科目別の演習に行き時間が取れない(訪問看護は特に小規模なところが多く難しい)							長ずるカリキュラム				1										
133	訪問看護	限られた人数での業務のため、研修に参加できる余裕がありません。大きな事業所であれば、対応できると思ひます。							人員不足														
134	訪問看護	研修の時間確保(仕事の欠勤分の補てん)。@@@E-ラーニングの勉強時間(家庭と仕事、勉強の両立の困難とストレス)。							長ずるカリキュラム					1									
135	訪問看護	スタッフ不足により研修へ参加できない。							人員不足														
136	訪問看護	看護師不足の為研修に出そうと思ひても中々調整できない。@@@又、子供が多い為(出そうとした看護師)受講できない状況。@@@ある程度子供も大きくなれば(手が離れば)受講は可と考えられます。							人員不足														
137	訪問看護	現時点では必要性があまりない為				1			自施設の業務との兼ね合い														
138	訪問看護	勤務と研修の同時進行が困難。							人員不足														
139	訪問看護	スタッフの数が足りず、研修に出る余裕がない。@@@大きな病院の臨床経験のないNsが多く、高度の医療技術に対して不安をもっている。@@@研修を受けた人間への負担増加を懸念する考えがある。(スタッフの中に)							人員不足、キャリアメイク						1								
140	訪問看護	費用がかかるのでは@@@時間の面で負担が大きい		1					費用、長ずるカリキュラム					1									
141	訪問看護	施設が少ないのと、長時間の研修になるので、仕事をしながら研修に長時間がなかなかない。@@@土日等で設定するか、研修機関が近くにないと良い。							人員不足、カリキュラムの不備								1						
142	訪問看護	特定行為はリスクが高いものが多く、在宅で行うのは無理だと思ひます。							責任の所在														
143	訪問看護	法整備(特定行為を実施するにあたりつかりた法律@@@事故発生時のバックアップ@@@一般社会への周知(もちろん医師をはじめ医療現場へも))							責任の所在、安全な環境の確保、一般社会への周知												1		
144	訪問看護	看護師不足にて研修に行けない。@@@他の研修(身近なもの(感染対策など)が優先される。@@@看護師の責任が重なるように思ひます。							人員不足、責任の所在												1		
145	訪問看護	在宅で直結したことは看護師の判断でできることがあればいいと感じる。しかしステーション内における行為にかかる薬剤や物品がなく、直ちに実施できるものではなく、結果的に主治医の指示を受け物品や薬剤のない方を要しなければ行えない。在宅訪問こそ思ひが不可能に近い。				1			自施設の業務との兼ね合い														
146	訪問看護	小規模施設での現状は無理。(時間・運営)@@@しかしスタッフのスキルアップが必要				1			自施設の業務との兼ね合い														
147	訪問看護	かなり技術が熟練しないと危険							研修の実効性					1									
148	訪問看護	近くで受けられるところがない。(近いところ、30~60分以内なら通える)@@@土日や夜は研修に出にくい。(平日日中がいい)		1					アクセス														
149	訪問看護	特定行為で発生した責任に対する保険等リスク対応が不十分							責任の所在														
150	訪問看護	Nsの人材不足							人員不足														
151	訪問看護	医療事故の可能性、責任@@@対策：指示を出される医師の動向による確認で、その看護師の技術が十分期待出来ると判断出来れば指示を出すことが可能等の規則等。							責任の所在												1		

(表 29：訪問看護ステーションからの回答より(1/3))

ナンバリング	機関属性	内容	費用	アクセス	医師の理解不足	自施設の業務との兼ね合い	スタッフの理解不足	病院執行部の理解	人員不足	情報の不足	職員の意識	制度に対する実効性への疑問	長ずるカリキュラム	研修の実効性	キャリアメイク	登録システム	カリキュラムの不備	安全な環境の確保	責任の所在	看護の行うべき業務との兼ね合い	行政との連携困難	一般社会への周知	合計
152	訪問看護	訪問看護師の人数が足りないため、研修に参加することができません。@.@@訪問看護師の過員。							1														
153	訪問看護	看護師なのか医師なのか@.@@常時医師がない所では重要な仕事のひとつと考えるが看護の延長線上に医療行為があるわけでもないが仕事(看護)も多く占めるのであれば看護師がする意味がないと思う@.@@又、診療報酬上の課題もある。更に研修機会の確保ができない		1																1			
154	訪問看護	行為における責任の所在@.@@看護師間チームワーク@.@@患者様の人権尊重について																		1		1	
155	訪問看護	訪問看護では開業医の医師から指示をもつ場合が多く、手順書の発行が円滑に行われるのは難しいと思う。また病院の医師と直接話す機会は少なくとも必要時にどのように依頼すれば良いかわからない。医師会で周知できるよう協力していただき、開業医の先生にも働きかけていただければと思います。			1																		
156	訪問看護	マンパワー不足のため、長期的研修に出すには、現場が回らなくなったり残されたスタッフへの負担が大きくなる。まずは看護師不足を解消してから、次の段階の話し合いにしたい。							1														
157	訪問看護	看護師の基本的姿勢、現状では前向きに取り組むむとわがいない方が多いと思われまます。									1												
158	訪問看護	経済面@.@@マンパワー不足		1					1														
159	訪問看護	研修費用が高く、スタッフが少ない中で研修出席が厳しい状態。@.@@手順書を個人の開業医は出すことができるのでしょうか。		1						1													
160	訪問看護	施設内の看護師不足のため、研修に参加してもらう時間を確保できない。							1														
161	訪問看護	小規模の事業所は研修の為の出張に多くの時間を費やすことが出来ないのが現状です。確かに在宅医療を支えるためには専門的な知識をもちあわせ看護師の存在は必要だと思いますが、参加できるのはある程度職員(看護師)が充足している施設(病院)に限られてしまうのが残念です。							1														
162	訪問看護	看護師がそこまでのレベルに達していない。									1												
163	訪問看護	人材不足で、長期的研修に出す事ができない現状がある。質の向上を図りたいが、研修による人材ロスの営業利益カバーができない。								1													
164	訪問看護	現時点では該当する患者なし@.@@許可を出す医師の考えが至っていない				1																	
165	訪問看護	研修参加の為の費用がないのと、その資格取得後の加算等がない。@.@@医師との連携で意見書を書くDrと書かないDrがいるのではないのでしょうか。その時の対策は？		1	1															1			
166	訪問看護	研修に係る費用と時間が確保し難い。時間は有給つけられても、費用については個人の負担では大きく、しかし、事業所に出してもらうにも、現時点では診療報酬に反映されていなくて強引にお願いしたい。@.@@主治医の先生にもこの事業の理解と協力を得ていかなければ普及も難しいのではないかと感じる。		1									1										
167	訪問看護	研修時間の確保が難しい。少ないスタッフの中から長期研修受講は困難(時期や期間にもよるが...)							1				1										
168	訪問看護	人材の問題で難しい							1														
169	訪問看護	研修費が高額になるのは仕方ないことではあるが、施設からの補助(金額ならいざ知らず)だけでは、スクリーニングや実習中の滞在費などのねん出がつかないのではなかろうか。長期的な研修になれば、出来たのか欠勤なのかも参加が困難となる。厚生労働省の「未来の医療を支える研修」なら厚生労働省から補助がでるとありがたいです。		1																			
170	訪問看護	通常の業務をこなす上に研修参加の時間的、経済的、人力的余裕がない。国や自治体からこの点への援助が必要。		1					1														
171	訪問看護	どこで情報収集したらいいかわかりにくい。								1													
172	訪問看護	在宅ではその状況が考えられない行為が多い。例えば気切の方は多く、小児では当スタッフもマニュアル交換はしている(一部は成人も)現状があるが、気管内チューブを挿入し在宅というのには考えにくい。スタッフもきりぎりす人数でやっているステーションが多く、これ以上の時間数を確保するのは難しい。ただ、手順書に基づきNS判断でできたと思う行為はある。				1																	
173	訪問看護	当ステーションは精神科訪問看護を行っているため、研修の受講は考えていません。@.@@ただ、精神科に係る、薬剤の投与に関しては、薬物の取り扱いの観点から必要とやや感じながらも、判断が難しいと考えます。				1																	
174	訪問看護	研修に出している間の勤務調整がむずかしい@.@@研修予算の問題		1					1														
175	訪問看護	人員不足							1														
176	訪問看護	長期的研修に出せる人員の確保が出来ないが難しい。@.@@人材確保が必要。							1														
177	訪問看護	医師の手順書の内容が分かりやすい者であるか@.@@看護師への責任が過重となる事			1															1			
178	訪問看護	研修期間中の業務への支障を心配して受けられない方が多い。当ステーションは家庭の事情(日勤で主婦(子供を抱えた)の方が多い)							1														
179	訪問看護	スタッフ数に余裕がない							1														
180	訪問看護	訪問看護の場合、もし研修を受けたスタッフが1名いたら、利用者様には他のスタッフ(研修を受けていないスタッフ)の対応に不満をもたらすのではないかと思います。													1							1	
181	訪問看護	少人数のステーションでは、研修にスタッフを出せる程、マンパワーに余裕がない。							1														

(表 30：訪問看護ステーションからの回答より(2/3))

ナンバリング	機関属性	内容 @@@は 改行を示す		費用	アクセス	医師の理解不足	自施設の業務との兼ね合い	スタッフの理解不足	病院執行部の理解	人員不足	情報の不足	職員の意識	制度に対する実効性への疑問	長すぎるカリキュラム	研修の実効性	キャリアメイク	登録システム	カリキュラムの不備	安全な環境の確保	責任の所在	看護師の行うべき業務との兼ね合い	行政との連携困難	一般社会への周知	合計
182	訪問看護	スタッフ数が不足の為、日々の業務で手が届かないで研修に出せない、出れない現状。@@@→周囲の関連でも同じような意見をよく耳にする @@@人材確保が最優先→これから研修内容（時期、期間など）を検討してもらいたい。田舎は特に人手不足深刻！	人員不足							1														
183	訪問看護	業務に関するマンパワー不足で、研修機関にスタッフが出せない	人員不足							1														
184	訪問看護	マンパワー不足	人員不足							1														
185	訪問看護	・長期期間であること（休日の確保） @@@・研修施設までの距離	長すぎるカリキュラム、アクセス		1									1										
186	訪問看護	医師不足もあるが看護師不足も深刻。@@@患者は医師に診て治してもらいたいと思う。個人的には、特定行為看護師ではなくミニ医師になればよいのではないかと。看護の専門性を大事にしたい。	人員不足							1														
187	訪問看護	情報が乏しい	情報の不足								1													
188	訪問看護	・小規模事業所にて、勤務調整ができない。@@@医師のいない在宅では不安もあり責任も重くなる為考えていない。@@@又、必要性もさほど感じていない。	人員不足、責任の所在、自施設の業務との兼ね合い				1			1										1				
189	訪問看護	・現状の業務で余裕がない@@@・人手不足	人員不足							1														
			回答数	11	3	2	7	0	1	38	4	2	0	7	1	2	0	2	0	10	2	0	2	94
			全回答件数に占める割合	12%	3%	2%	7%	0%	1%	40%	4%	2%	0%	7%	1%	2%	0%	2%	0%	11%	2%	0%	2%	100%

(表 31：訪問看護ステーションからの回答より (3/3))

ナンバリング	機関属性	内容 @@@は 改行を示す	費用	アクセス	医師の理解不足	自施設の業務との兼ね合い	スタッフの理解不足	病院執行部の理解	人員不足	情報の不足	職員の意識	制度に対する実効性への疑問	長すぎるカリキュラム	研修の実効性	キャリアメイク	登録システム	カリキュラムの不備	安全な環境の確保	責任の所在	看護師の行うべき業務との兼ね合い	行政との連携困難	一般社会への周知	合計
190	不明	人員不足で研修に参加できる時間を確保できない								1													
191	不明	業務をしながらの研修はともむずかしい								1													
192	不明	当病院では訪問診療を行っておらず、特定行為に関しては、訪問看護や訪問診療を行っているところでは必要と思います。今後も訪問診療を行う予定は少ないと思うからです。				1																	
193	不明	責任の所在について（事故発生時）																	1				
194	不明	近隣に研修機関、協力機関がない。派遣職員の選定、研修にかかる費用、当院の状況に則した方法の情報不足	1		1						1												
195	不明	人員不足								1													
196	不明	・医師が行っている医療行為があるように（医師と看護の役割）准看護師と看護師が行っている医療行為をもっとしりて区別すべきである。免許の意味を理解できるようにチーム等、各施設には人数やシステム等他人が見てもわかるように区別するべきだと思う。@@@・研修終了者には、「研修を受けてます」とわかるようにマーク、印義務付けるようにすると医師が看護師に指示を出しやすくなるのでは。													1				1			1	
			回答数	1	0	1	1	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1
			全回答件数に占める割合	9%	0%	9%	9%	0%	0%	27%	9%	0%	0%	0%	0%	9%	0%	0%	0%	18%	0%	0%	9%

(表 32：区分不明施設からの回答より)

	費用	アクセス	医師の理解不足	自施設の業務との兼ね合い	スタッフの理解不足	病院執行部の理解	人員不足	情報の不足	職員の意識	制度に対する実効性への疑問	長すぎるカリキュラム	研修の実効性	キャリアメイク	登録システム	カリキュラムの不備	安全な環境の確保	責任の所在	看護師の行うべき業務との兼ね合い	行政との連携困難	一般社会への周知	合計
病院	5	9	11	6	2	0	10	1	3	4	2	2	3	2	1	4	6	4	1	1	77
	6%	12%	14%	8%	3%	0%	13%	1%	4%	5%	3%	3%	4%	3%	1%	5%	8%	5%	1%	1%	100%
有床診療所	5	0	2	9	0	0	12	1	1	2	2	0	2	0	0	0	3	0	0	0	39
	13%	0%	5%	23%	0%	0%	31%	3%	3%	5%	5%	0%	5%	0%	0%	0%	8%	0%	0%	0%	100%
介護施設	2	4	1	11	0	0	18	1	2	3	9	0	2	0	2	0	3	2	0	0	60
	3%	7%	2%	18%	0%	0%	30%	2%	3%	5%	15%	0%	3%	0%	3%	0%	5%	3%	0%	0%	100%
訪問看護	11	3	2	7	0	1	38	4	2	0	7	1	2	0	2	0	10	2	0	2	84
	12%	3%	2%	7%	0%	1%	40%	4%	2%	0%	7%	1%	2%	0%	2%	0%	11%	2%	0%	2%	100%
その他	1	0	1	1	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	11
	9%	0%	9%	9%	0%	0%	27%	9%	0%	0%	0%	0%	9%	0%	0%	0%	18%	0%	0%	9%	100%
全部合計	24	16	17	34	2	1	81	8	8	9	20	3	10	2	5	4	24	8	1	4	281
割合	9%	6%	6%	12%	1%	0%	29%	3%	3%	3%	7%	1%	4%	1%	2%	1%	9%	3%	0%	1%	100%

(赤字は各機関属性で上位3位までの項目であることを表す)

(表 33：各機関属性ごとの回答の傾向)

看護師の特定行為研修シンポジウム

投 影 資 料

「看護師による特定行為の提供活性化に向けた、
特定行為研修の受講ニーズの評価」

(2017年3月2日 開催)

看護師による特定行為の提供活性化に向けた、特定行為研修の受講ニーズの評価

－平成28年度厚生労働科学特別研究事業から－
(中間報告)

2017年3月2日

未来の医療を支える看護師の特定行為研修シンポジウム

京都大学医学部附属病院 診療報酬センター 加藤 源太

本日のお話

- 1) 当研究の背景
- 2) 調査概要
- 3) 研究結果概要 (中間報告)
- 4) 結語

本日のお話

- 1) 当研究の背景
- 2) 調査概要
- 3) 研究結果概要（中間報告）
- 4) 結語



特定行為に係る看護師の研修制度：普及状況

◆ 研修制度の概要

- 2025年に向け更なる在宅医療等の推進を図っていくため、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により一定の診療の補助を行う看護師を養成・確保することを目的に、当該行為を特定し、手順書によりそれを実施する場合の研修制度を創設し、平成27年10月に施行を開始した。

◆ 研修制度の普及状況

- 平成28年末時点で、特定行為研修を受講し、特定行為の実施資格を得た看護師は300人程度に留まっている。
- また、特定行為研修を行うことができる指定研修機関も平成28年末時点で28機関程度に留まっており、全国レベルで研修の機会が提供出来る体制が整っていない。

本日のお話

- 1) 当研究の背景
- 2) 調査概要**
- 3) 研究結果概要（中間報告）
- 4) 結語



当調査について：概要

◆ 当調査の目的

- 全国規模でどの程度の特定行為に係る研修受講ニーズが存在するのかを評価することで、今後の看護師特定行為研修体制の適切な構築や特定行為研修制度の充実化、更には2025年に向けた医療提供体制の充実化に資する情報を提供することを目的として、当調査を実施した。
- 調査に際しては、当制度に関する情報提供の目的のもと、看護師特定行為に関するリーフレットを同封し周知を図った。

◆ 調査方法

- 全国の医療機関を対象にランダムサンプリングを行い、抽出された医療機関に対して看護師の特定行為研修に関する質問票を郵送にて発送し、調査票を回収したうえで集計・分析を行う方法を採用した。

当調査について：調査対象

◆ 調査対象の選定

- 全国の病院、有床診療所、介護施設（特養等）及び訪問看護ステーションを対象に、ランダムサンプリングを行って調査を実施した。
- 各都道府県の医療機関から確実に意見を集約することを第一の目的としたため、今回は全国一律の抽出率を適用せず、各都道府県、各機関属性で均等な数の調査票を発送できるよう、抽出率を都道府県ごとに設定した。
- 調査期間は平成29年1月4日～2月10日とした。

当調査について：調査対象

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	総数
対象数	8,448	7,653	11,740	8,745	36,586
抽出数	1,974	1,974	1,974	1,974	7,896
	内訳は、何れも 47（都道府県）×42（施設）				
標本抽出率	23.4%	25.8%	16.8%	22.6%	21.6%
最も抽出率が高い都道府県	鳥取県 95.5%	山梨・鳥取 100%	山梨県 47.2%	鳥取県 89.4%	鳥取県 71.5%
最も抽出率が低い都道府県	東京都 6.5%	福岡県 7.5%	東京都 6.3%	大阪府 4.7%	東京都 6.5%

当調査について：調査内容

◆ 質問事項

- 対象機関における、特定行為研修制度の理解度について
回答者の属性、常勤看護師の在籍状況
特定行為研修を行っている看護師の在籍状況
回答者における、看護師の特定行為研修についての関心の程度
- 対象機関における、各特定行為区分に対する意向調査
所属の看護師に研修を受講させたい特定行為区分は何か
今後具体的に、看護師の研修派遣を予定している区分は何か
- 対象機関における、研修支援に対する意向調査
今後、指定研修機関への申請を予定しているか
今後、研修協力施設になることを予定しているか
- 自由記述
研修制度普及に際して、障害と感じていることは何か

回収状況の概要

	依頼施設数	無効施設数	有効施設数	回収数	回収率	回収内訳
病院	1,974	0	1,974	914	46.3%	25.8%
有床診療所	1,974	3	1,971	835	42.4%	23.6%
介護施設 (特養等)	1,974	3	1,971	732	37.1%	20.7%
訪問看護	1,974	58	1,916	916	47.8%	25.9%
施設不明回答	0	0		141	-	4.0%
総数	7,896	64	7,832	3,538	45.2%	100%

※2月16日までの到着分について評価

- 介護施設（特養等）で、回収率が低くなっているが、その他では45%以上の回収率となっている。
- 訪問看護ステーションにおいては、無効施設数が増えている。住所変更等により届かない事例が、他よりも多かった。

回答者の属性

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	3,538
施設長	18 2.0%	287 34.4%	140 19.1%	239 26.1%	40 28.4%	724 20.5%
看護部長	728 79.6%	154 18.4%	154 21.0%	37 4.0%	40 28.4%	1113 31.5%
事務長	54 5.9%	160 19.2%	48 6.6%	7 0.8%	6 4.3%	275 7.8%
その他	112 12.3%	223 26.7%	388 53.0%	625 68.2%	54 38.3%	1402 39.6%
無回答	2 0.2%	11 1.3%	2 0.3%	8 0.9%	1 0.7%	24 0.7%

- 病院では看護部長、有床診療所では施設長、介護施設や訪問看護ステーションでは「その他」の回答が最も多かった。

特定行為研修受講歴のある看護師の在籍

あなたの施設には特定行為研修を修了又は
受講中の看護師は在籍していますか？

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	
在籍あり	51 5.6%	6 0.7%	17 2.3%	16 1.7%	3 2.1%	93 2.6%
在籍なし	850 93.0%	786 94.1%	685 93.6%	882 96.3%	135 95.7%	3338 94.3%
わからない	11 1.2%	35 4.2%	29 4.0%	13 1.4%	2 1.4%	90 2.5%
無回答	2 0.2%	8 1.0%	1 0.1%	5 0.5%	1 0.7%	17 0.5%

- 受講歴のある看護師は病院で最も在籍率が高いものの、総じて受講の状況は低調である。

回答者における特定行為研修への理解度

あなたは看護師の特定行為を知っていましたか？

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	
知っている	871 95.3%	414 49.6%	386 52.7%	766 83.6%	99 70.2%	2536 71.7%
知らない	41 4.5%	414 49.6%	344 47.0%	145 15.8%	42 29.8%	986 27.9%
無回答	2 0.2%	7 0.8%	2 0.3%	5 0.5%	0 0.0%	16 0.5%

- 病院および訪問看護ステーションで認知度は高いものの、有床診療所や介護施設での認知度は低い。

今回の調査を通じた、研修への関心の喚起

あなたはこの（同封の）リーフレットを見て、看護師の特定行為に関心を持ちましたか？

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	
関心を持った	756 82.7%	516 61.8%	564 77.0%	738 80.6%	95 67.4%	2669 75.4%
関心を持たなかった	154 16.8%	310 37.1%	166 22.7%	169 18.4%	45 31.9%	844 23.9%
無回答	4 0.4%	9 1.1%	2 0.3%	9 1.0%	1 0.7%	25 0.7%

- 今回の調査を通じて、いずれの医療機関においても、特定行為研修への関心は、一定程度喚起することができた。

特定行為研修への看護師派遣に関する認識

あなたはこのリーフレットを見て、将来あなたの施設の看護師に特定行為研修を受講させたいと思いましたが？

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	
させたいと思った	391 42.8%	207 24.8%	250 34.2%	378 41.3%	60 42.6%	1286 36.3%
させたくないと思った	102 11.2%	106 12.7%	69 9.4%	65 7.1%	12 8.5%	354 10.0%
わからない	413 45.2%	514 61.6%	408 55.7%	465 50.8%	69 48.9%	1869 52.8%
無回答	8 0.9%	8 1.0%	5 0.7%	8 0.9%	0 0.0%	29 0.8%

- 特定行為への関心は一定程度喚起することができたものの、実際に派遣するか否かについては総じて慎重な意見が多い。

特定行為研修指定機関への申請

あなたの施設は、特定行為研修に係る指定研修機関への申請を現時点で予定していますか？

機関属性	病院	有床診療所	介護施設 (特養等)	訪問看護 ステーション	属性不明	総数
回答数	914	835	732	916	141	
申請予定あり 施設長承認済	16 1.8%	3 0.4%	6 0.8%	8 0.9%	2 1.4%	35 1.0%
申請予定あり 施設長未承認	7 0.8%	0 0.0%	2 0.3%	4 0.4%	2 1.4%	15 0.4%
今後検討予定	121 13.2%	82 9.8%	122 16.7%	195 21.3%	32 22.7%	552 15.6%
申請予定なし	753 82.4%	733 87.8%	580 79.2%	684 74.7%	101 71.6%	2851 80.6%
無回答	17 1.9%	17 2.0%	22 3.0%	25 2.7%	4 2.8%	85 2.4%

- 一部医療機関で検討は行われているものの、実際に申請を予定している機関は極めて限られている。

各特定行為区分に対する認識：病院

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	3 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	4 循環器関連	5 心臓ドレーン管理関連	6 胸腔ドレーン管理関連	7 腹腔ドレーン管理関連	8 ろう孔管理関連	9 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	10 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	11 創傷管理関連	12 創部ドレーン管理関連	13 動脈血液ガス分析関連	14 透析管理関連	15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 感染に係る薬剤投与関連	17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	18 術後疼痛管理関連	19 循環動態に係る薬剤投与関連	20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連
(受講させたいか否か)																				
51%	40%	49%	28%	10%	22%	23%	42%	46%	42%	65%	41%	35%	27%	57%	48%	55%	36%	29%	40%	47%
(看護師派遣の予定はあるか)																				
3.7%	4.3%	4.3%	2.6%	1.7%	1.9%	2.0%	3.5%	3.1%	2.9%	5.9%	3.2%	2.9%	2.4%	5.3%	3.2%	4.3%	2.2%	2.2%	2.8%	3.4%

- 区分により差があるが、50%以上の関心を引く区分もある。
- 実際の派遣予定については、大幅に割合が下がる。

各特定行為区分に対する認識：有床診療所

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	3 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	4 循環器関連	5 心臓ドレーン管理関連	6 胸腔ドレーン管理関連	7 腹腔ドレーン管理関連	8 ろう孔管理関連	9 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	10 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	11 創傷管理関連	12 創部ドレーン管理関連	13 動脈血液ガス分析関連	14 透析管理関連	15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 感染に係る薬剤投与関連	17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	18 術後疼痛管理関連	19 循環動態に係る薬剤投与関連	20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連
(受講させたいか否か)																				
37%	26%	24%	24%	12%	15%	17%	26%	31%	30%	46%	31%	22%	18%	42%	43%	41%	33%	25%	27%	32%
(看護師派遣の予定はあるか)																				
2.1%	1.1%	1.0%	1.1%	0.6%	0.6%	0.8%	1.6%	2.5%	2.5%	3.3%	2.3%	1.3%	1.4%	3.0%	3.1%	2.9%	2.5%	1.8%	1.9%	2.9%

- 病院と異なり、50%以上の関心を引く区分はない。
- 派遣予定についての傾向は病院と同じ。

各特定行為区分に対する認識：介護施設

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	3 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	4 循環器関連	5 心臓ドレーン管理関連	6 胸腔ドレーン管理関連	7 腹腔ドレーン管理関連	8 ろう孔管理関連	9 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	10 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	11 創傷管理関連	12 創部ドレーン管理関連	13 動脈血液ガス分析関連	14 透析管理関連	15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 感染に係る薬剤投与関連	17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	18 術後疼痛管理関連	19 循環動態に係る薬剤投与関連	20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連
(受講させたいか否か)																				
32%	17%	24%	23%	5%	6%	6%	37%	24%	25%	59%	20%	11%	12%	57%	58%	52%	13%	24%	52%	39%
(看護師派遣の予定はあるか)																				
2.2%	1.5%	1.9%	1.9%	1.0%	0.7%	0.8%	2.4%	2.0%	2.0%	3.3%	1.4%	1.2%	1.4%	3.8%	4.5%	3.9%	1.4%	1.9%	3.9%	3.0%

- 病院と異なり、呼吸器関連の区分について、関心が低い。
- 派遣予定についての傾向は病院、有床診と同じ。

各特定行為区分に対する認識：訪問看護

- ・ 将来、特定行為研修をあなたの施設の看護師に受講させたいと思いますか？
- ・ 平成29年度～30年度に、所属する看護師の特定行為研修への派遣予定がありますか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	2 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	3 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	4 循環器関連	5 心臓ドレーン管理関連	6 胸腔ドレーン管理関連	7 腹腔ドレーン管理関連	8 ろう孔管理関連	9 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	10 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	11 創傷管理関連	12 創部ドレーン管理関連	13 動脈血液ガス分析関連	14 透析管理関連	15 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 感染に係る薬剤投与関連	17 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	18 術後疼痛管理関連	19 循環動態に係る薬剤投与関連	20 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	21 皮膚損傷に係る薬剤投与関連
(受講させたいか否か)																				
50%	48%	60%	38%	15%	20%	26%	54%	51%	49%	76%	44%	24%	27%	72%	62%	64%	31%	34%	47%	52%
(看護師派遣の予定はあるか)																				
1.6%	2.1%	1.8%	1.4%	1.0%	1.0%	1.0%	2.0%	2.4%	2.5%	3.5%	1.4%	1.1%	1.2%	3.3%	2.5%	2.6%	1.5%	1.7%	2.6%	2.7%

- 受講に関する関心については、各医療機関の中で最も高く、様々な区分において、50%以上の関心を引いている。

自由記述より

特定行為に係る看護師の研修制度の普及に際して、障害になっていると感じていることは何ですか。また、それを改善するためにはどういった対策が必要だとお考えですか。自由に記述して下さい。

- 現在、全回答のうち半分程度の事例で、何らかのコメントを得ており、回答を分析しているところ。
- 詳細は、年度末の報告書等にて報告する予定である。

本日のお話

- 1) 当研究の背景
- 2) 調査概要
- 3) 研究結果概要（中間報告）
- 4) **結語**



今回の調査で明らかにされたこと

- ◆ 今回の調査によって、各医療機関における看護師の特定行為研修制度に対する関心を、一定程度喚起することができた。しかし、看護師の派遣や指定研修機関としての体制整備を具体的に検討する医療機関は、総じて限られていることが確認された。
- ◆ 「病院」「有床診療所」「介護施設（特養等）」「訪問看護ステーション」の四種類の施設ごとに、回答者の属性や当制度への関心、ニーズの高い特定行為区分等について差異がみられることが確認された。

今後に向けて

- ◆ 各都道府県における受講ニーズの差異に一定程度の傾向が存在する可能性が示唆されたものの、その理由についての分析はまだ十分にはできていない。
- ◆ 自由記述については、当制度に対する現場の具体的な意見が多く含まれている可能性があるが、まだ十分な分析には至っていない。
- ◆ 今後分析を加え、施設属性毎に、看護師特定行為研修に関してどのような受講ニーズがあるかを詳細に調査する予定である。

ご静聴ありがとうございました

Genta KATO
(qq9f8hn9@kuhp.Kyoto-u.ac.jp)



研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
なし	なし				

研究発表等

発表者氏名	発表タイトル名	研究会・講演会名	発表日時
加藤 源太	看護師による特定行為の提供活性化に向けた、 特定行為研修の受講ニーズの評価	看護師の特定行為 研修シンポジウム	2017年3月2日
加藤 源太	看護師による特定行為の提供活性化に向けた、 特定行為研修の受講ニーズの評価	第1回指定研修機関 意見交換会	2017年3月2日